

令和5年度

第5回桐生市地域公共交通活性化協議会（法定協議会）

次 第

日時：令和5年12月15日（金）10：30～
場所：美喜仁桐生文化会館（桐生市市民文化会館）
4階 スカイホールA

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事

【協議事項】

（1）桐生市地域公共交通計画について

- ①全体構成等 **【資料1】**
- ②目標達成のための施策・事業 **【資料2】**

（2）今後のスケジュールについて

- 4 そ の 他
- 5 閉 会

【会議資料】

資料1：地域公共交通計画について

資料2：目標達成のための施策・事業

資料3：アンケート集計結果

別紙1：桐生市地域公共交通計画に対する意見報告様式

・桐生市交通ビジョン概要版

令和5年度第5回桐生市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	選出団体		氏名	出欠	代理人名等
1	桐生市	副市長	森山 享大	出	
2	桐生市	共創企画部長	西條 敦史	出	
3	桐生市	市民生活部長	関口 泰	出	
4	桐生市	都市整備部長	鈴木 宏	出	
5	桐生市	地域振興整備局長	登坂 良男	出	
6	東日本旅客鉄道(株)高崎支社	桐生駅長	佐太木 確	出	
7	東武鉄道(株)	新桐生駅長	杉田 浩	欠	
8	上毛電気鉄道(株)	取締役社長	橋本 隆	代	松本 由二
9	わたらせ渓谷鐵道(株)	代表取締役社長	品川 知一	出	
10	桐生朝日自動車(株)	取締役社長	佐川 智明	代	川鍋 宏行
11	(株)沼田屋タクシー	代表取締役	小林 康人	出	
12	(一社)群馬県バス協会	会長	佐藤 俊也	欠	
13	(一社)群馬県タクシー協会	会長	清水 憲明	代	小島 貢
14	国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所桐生国道維持出張所	所長	高橋 昭	欠	
15	桐生土木事務所	所長	宮崎 義明	出	
16	(株)桐生再生	ゆっくりズム研究所	登丸 貴之	出	
17	(一社)きりゅう市民活動推進ネットワーク	理事長	近藤 圭子(監査)	出	
18	桐生警察署	署長	江原 勝則	代	六本木 交通課長
19	桐生市区長連絡協議会(桐生地区)	第6区長	朝倉 富美夫	欠	
20	桐生市区長連絡協議会(新里地区)	第21区長	山形 賢助(監査)	欠	
21	桐生市区長連絡協議会(黒保根地区)	第22区長	大塚 慶治	欠	
22	桐生市中心身障害者関係団体連絡協議会	会長	高草木 薫	欠	
23	桐生市老人クラブ連合会	常任理事	小島 良行	出	
24	桐生市婦人団体連絡協議会		間中 一枝	出	
25	桐生市PTA連絡協議会	会計	新井 慎太郎	欠	
26	桐生市立小学校長会	校長	臼井 一子	欠	
27	地域公共交通マイスター		佐羽 宏之	出	
28	群馬大学	教授	天谷 賢児(会長)	出	
29	群馬運輸支局	支局長	鷺巣 雄一	代	石川 一志
30	群馬県知事戦略部交通イノベーション推進課	課長	田中 佑典	代	淡嶋 遼
31	桐生朝日自動車(株)運転手代表	乗合乗務員	酒寄 真一	欠	
32	(株)沼田屋タクシー運転手代表	運転手	鎗木 祥倫	出	
33	桐生商工会議所	専務理事	石原 雄二(副会長)	出	
34	新里商工会	会長	瀬谷 源	出	
35	黒保根商工会	会長	金子 敬	欠	
36	(一社)桐生市観光物産協会	会長	宮地 由高	出	
37	桐生市地域包括支援センター	社会福祉士	峰岸 良真	欠	
38	みどり市総務部企画課	課長	青木 照幸	代	小倉 敦史

第5回 桐生市地域公共交通活性化協議会

【地域公共交通計画について】

令和5年12月15日
桐生市共創企画部交通ビジョン推進室

目次

● 検討スケジュール	2
● 前回の振り返り	3
● 本日の検討項目の位置づけ	4
1. 現況・課題について (STEP3)	5
(1) ニーズ調査結果	6
(2) 課題の整理	9
2. 基本的な方針・目標について (STEP2・3)	10
(1) 基本的な方針 (案)	11
(2) 目標 (案)	13
3. 施策について (STEP4)	14
(1) 施策 (案)	15
4. 評価指標・目標値について (STEP5)	17
(1) 評価指標・目標値 (案)	18
5. 今後について	21
(1) 検討の流れ	22

● 検討スケジュール

月	活性化協議会	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5
9	#4 <ul style="list-style-type: none"> ■ 移動実態について ■ 現状調査内容等について 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画区域 (案) ・計画期間 (案) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通が担うべき役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート (案) ニーズ調査 		
				アンケート調査		
12	#5 <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通の課題について ■ 基本方針・目標・施策について 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な方針 (案) 担うべき役割・スローガン 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 (案) ・目標 (案) 課題を踏まえた目標設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策 (案) 目標達成のための事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標・目標値 (案)
1	#6 <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域公共交通計画(案)について 	計画区域・期間	基本的な方針	目標	施策	評価指標・目標値
2				↓		
3	#7 <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域公共交通計画(案)について ■ パブコメの実施方針について 	地域公共交通計画 (素案)				
4				↓		
5		パブリックコメント				
6		公表 (予定)				

●前回の振り返り

●いただいた主なご意見（抜粋）

○アンケートについて

- 鉄道に乗って楽しかったことや、乗りたくなるような積極的なことを聞けると良い。利点を伸ばしていくことで、利用者も増えていくと考える。
- 市民がアンケートに回答した結果、公共交通の現状に気づくことが重要。変わることの重要性に気付けるアンケートとすべき。

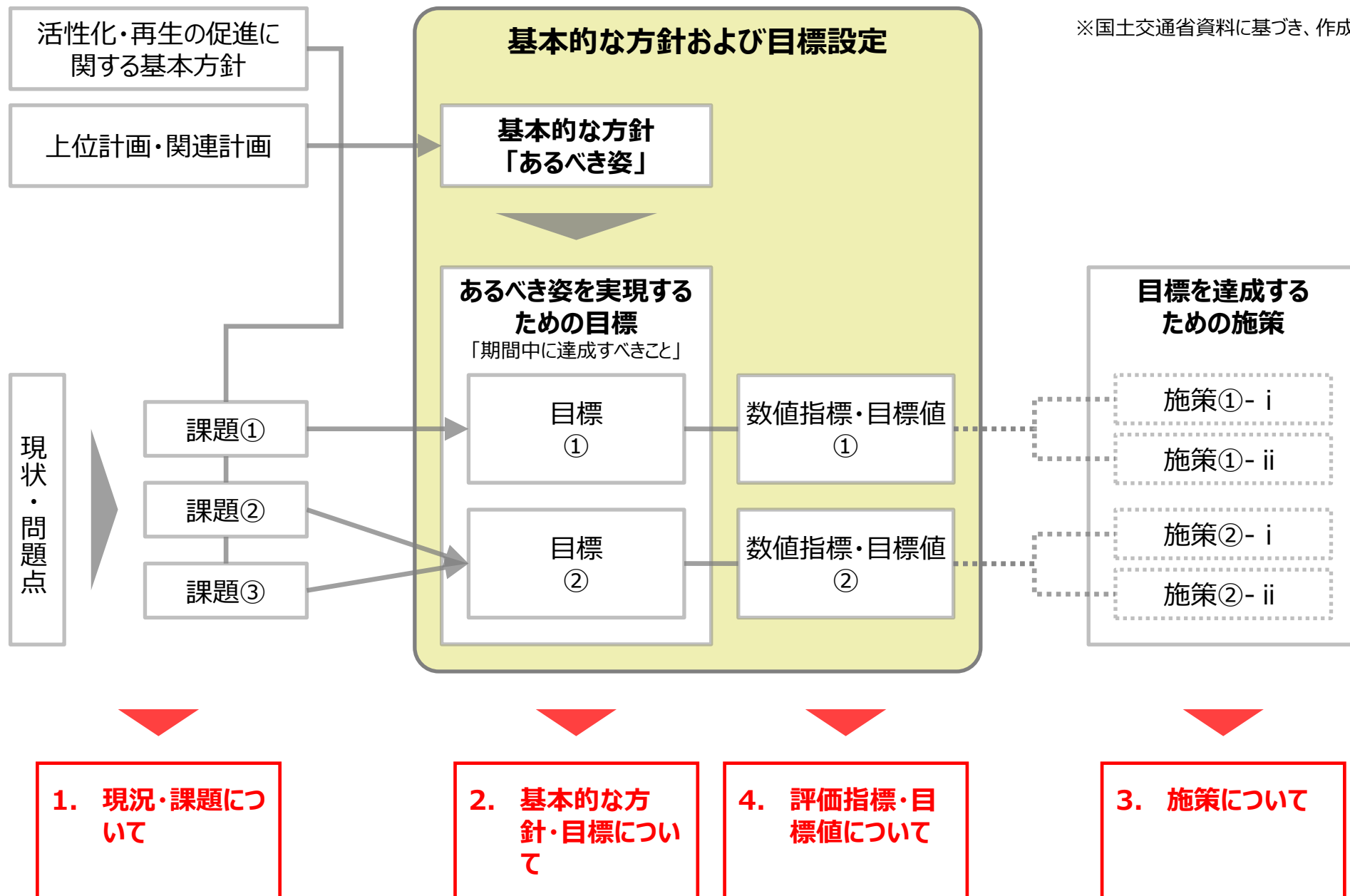
○公共交通の利用について

- わたらせ溪谷鐵道においてクラウドファンディングを実施した際、市民の方から「学生時代に友人と鉄道に乗って楽しかった」「お年寄り達のコミュニケーションの場となっていた」という意見を多数頂いた。
- 社会福祉協議会のイベントとしてMAYUをレンタルし、高齢者達で乗車体験を実施したところ、「楽しかった」という意見が多かった。
- 栃木県のLRT等の事例があるが、桐生市においては、今ある4路線をどのように活用していくかが重要。

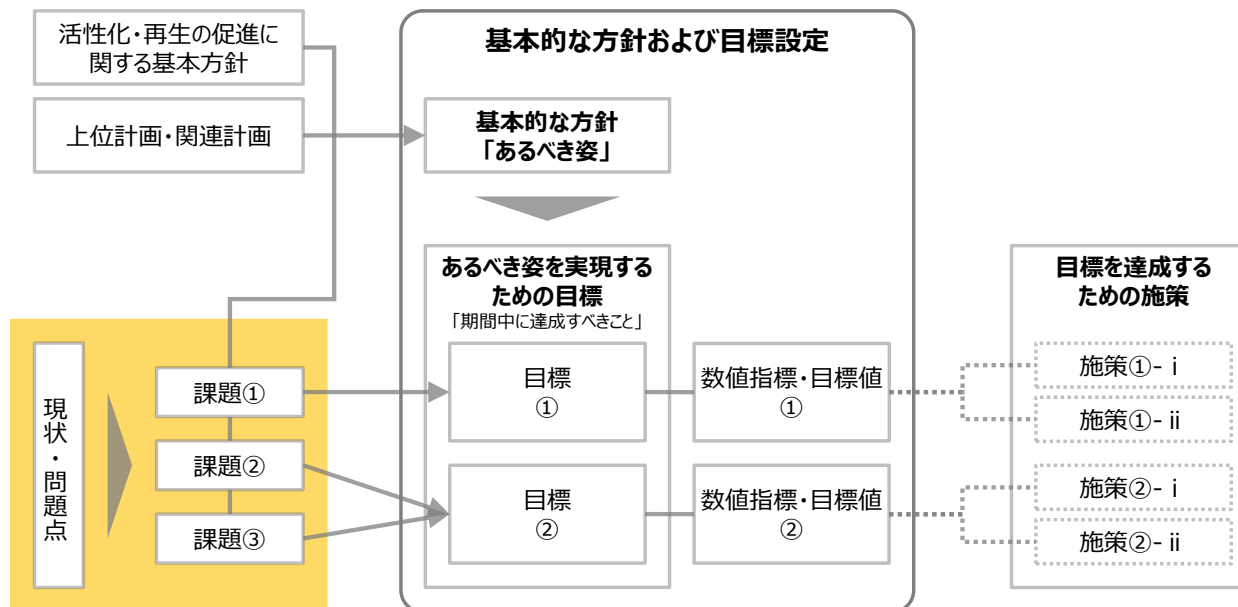
等

● 本日の検討項目の位置づけ

● 概要



1. 現況・課題について (STEP3)



1. 現況・課題について (STEP3)

(1) ニーズ調査結果

● 概要

	市民アンケート	群大生ヒアリング	高校生アンケート	市民の声アンケート	SDGsイベントアンケート
対象	高校生以上の市民	群馬大学生徒	桐生高校生徒	18歳以上の市民	イベント来訪者
調査方法	郵送	ワークショップ	直接配布	郵送	直接配布
実施日	令和5年10月13日 ～10月20日	令和5年11月2日	令和5年9月19日	令和5年7月15日 ～7月31日	令和5年10月29日
回収数	1,209	10	78	1,012	22
配布数 ・ 回収率	配布数：3,000 回収率：40.3%	—	—	配布数：2,000 回収率：50.6%	—
質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 属性 ① 自動車の運転について ② 公共交通の利用について ③ その他の移動サービスについて 	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通の利用について ② その他の移動サービスについて ※市民アンケートより一部抜粋	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通の利用について ② その他の移動サービスについて ※市民アンケートより一部抜粋	<ul style="list-style-type: none"> ● 属性 ① 日常の移動手段 ② 時刻や路線の調べ方 ③ マイカー以外にあると良い移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> ● 属性 ① 自動車の運転について ② 公共交通の利用について ③ その他の移動サービスについて
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車への依存度が高く、公共交通の利用は非常に少ない ・ 多様な移動手段として、MAYUの活用に一定程度の関心がある ・ 自由意見として、「周知・情報提供」「運行本数」に関する要望が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイカーを持たない学生でも、バス等の利用頻度は年に1回以上が半数 ・ 大学生の要望として、「朝や夜の運行を多くして欲しい」が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイカーと比較した際の公共交通の利点について、市民全体の回答より、「車内でゆっくり本を読んだり、動画を見たり、勉強ができる」が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイカーでの移動が7割以上であり、公共交通の利用は少ない ・ 多様な移動手段を公共交通に取り入れることについて一定程度の関心がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民全体と比較すると、イベント参加者の公共交通の利用頻度は若干多い

1. 現況・課題について (STEP3)

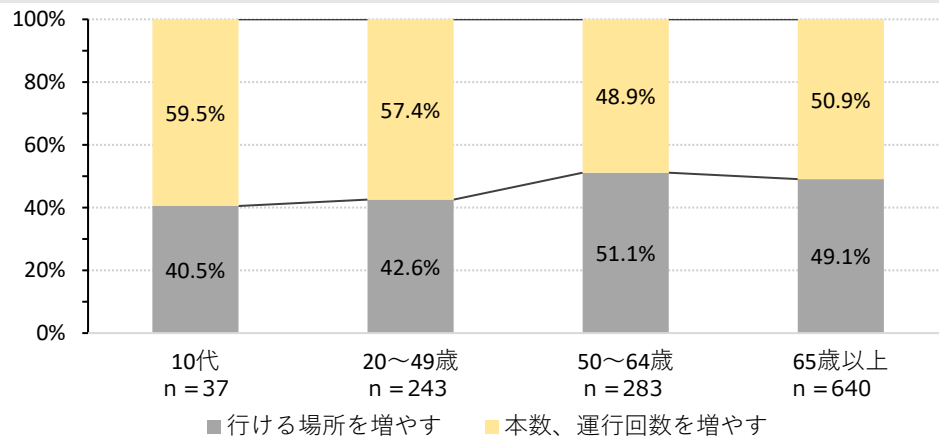
(1) ニーズ調査結果

①年代ごとの見直し要望

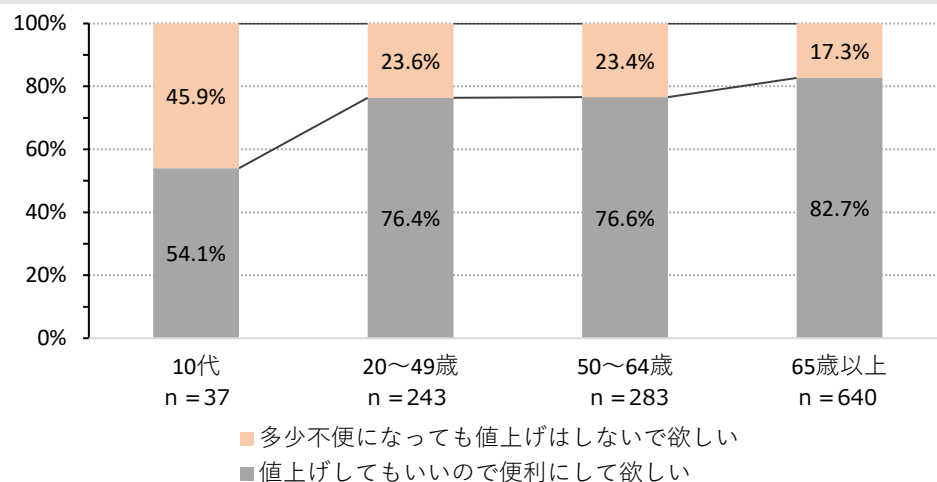
○バス等について、見直すならどちらが良いか (問6)

- 場所と本数について、若い年代は「本数、運行回数」が多くなっているが、50歳以降の年代では、大きな差は見られない。
- サービスレベルと運賃について、「値上げしてもいいので便利にして欲しい」が多く、年代が上がるにつれ顕著になっている。
- 運行本数を増やして欲しい時間帯について、若い年代は「朝や夜の運行」が多い一方で、年代があがるにつれ「昼間の運行」が多くなっている。

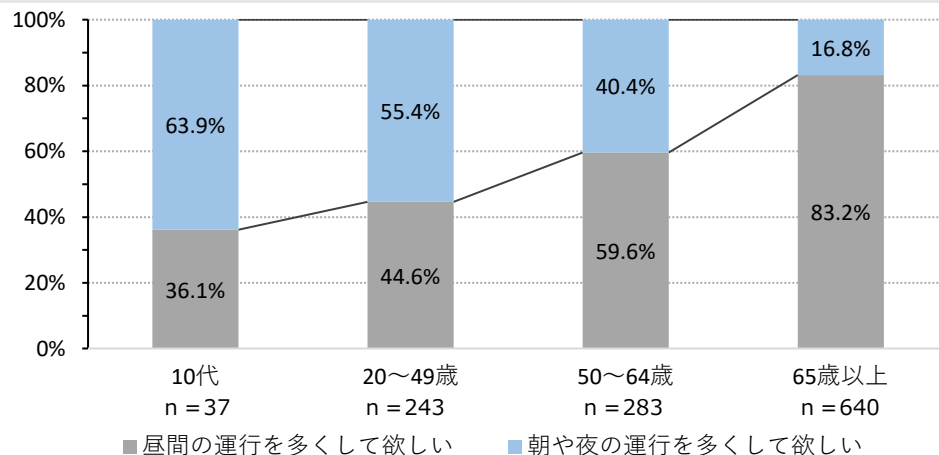
■「行ける場所」か「本数、運行回数」を増やすなら？



■サービスレベルと運賃の関係は？



■運行本数を増やして欲しい時間帯は？



資料3
アンケート集計結果 (p.15)

1. 現況・課題について (STEP3)

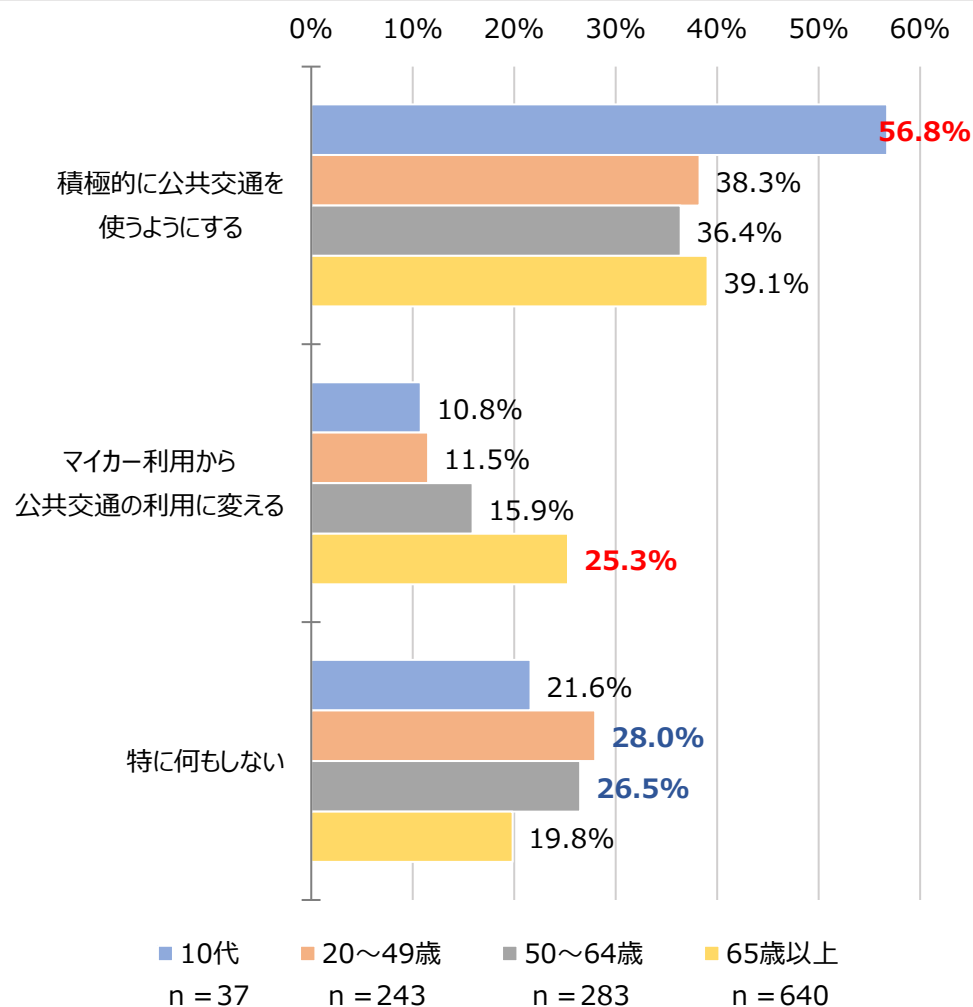
(1) ニーズ調査結果

②年代ごとの意識の差

○公共交通の維持・発展のため、どんなことができるか (問9)

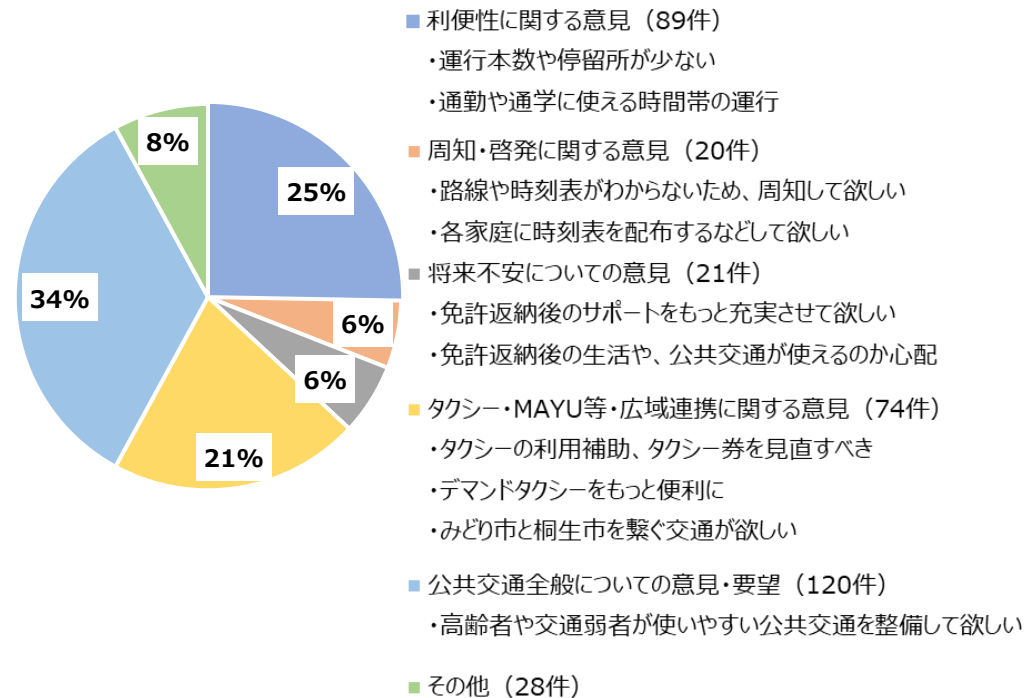
- 公共交通に対する意識の差について、10代や65歳以上では、公共交通利用に対する積極性が見られる。
- マイカー利用がほとんどだと考えられる、20～64歳は「特に何もしない」が多く、若い年代や高齢者との意識の差が見られる。

■公共交通に対する意識の差



□その他の自由意見について

記入者数：325人
 (内容件数：353件)
 ※同一内容を含む



資料3
 アンケート集計結果 (p.16・17)

1. 現況・課題について (STEP3)

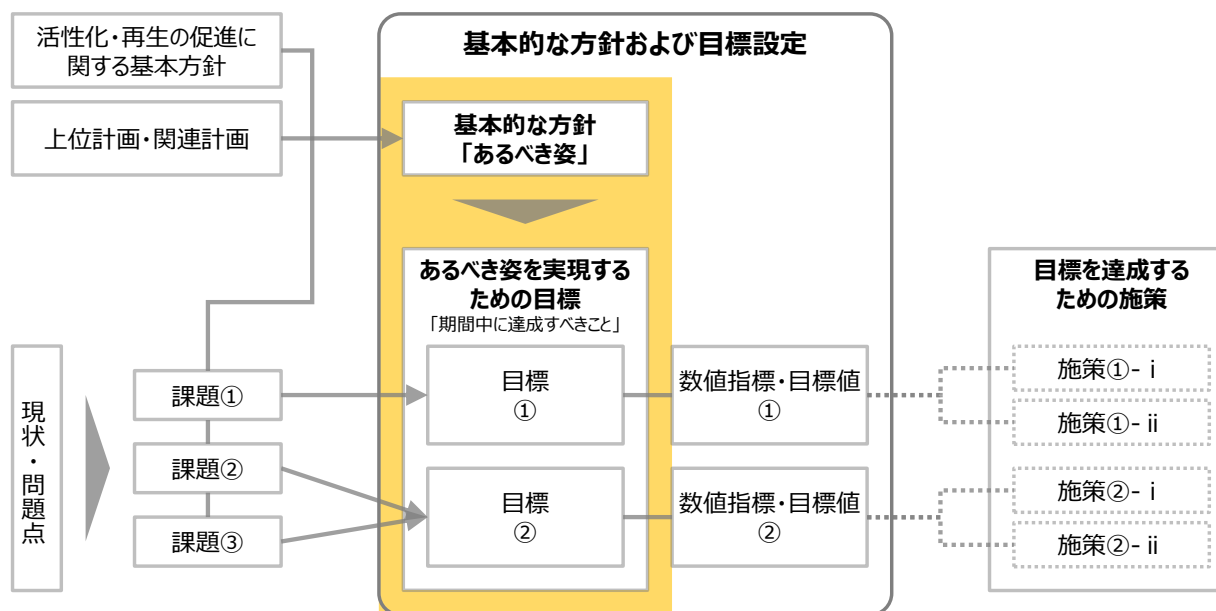
(2) 課題の整理

① 現状と課題

現状	
 上位・関連計画により示されている方針等	 各種意識調査の結果
 桐生市の地域特性・公共交通の現状	
鉄道利用の促進・バス交通の網の充実	
持続可能な公共交通体系の構築	
公共交通の収支率の低下	
人口減少・少子高齢化	
公共交通利用者の減少	
高齢者の運転免許保有率の増加	
運転免許返納後の移動手段への不安	
自動車への過度な依存	
公共交通に関する周知及び情報提供の不足	
運行本数・停留所の不足	
公共交通ネットワークを確保した便利なまちづくり	
みどり市への移動需要	
公共交通の届かないエリアの移動需要	
「MAYU」の活用推進	
SDGs（ゆっくりズムのまち桐生）の取組	

課題
誰もが利用しやすい公共交通への再編 <ul style="list-style-type: none">◎ 高齢者の日常生活に必要な移動手段の確保◎ 運転免許を返納しても、安心して移動できる公共交通サービスの提供◎ 子育て世代の送迎負担などの軽減
利用促進に向けた取り組み活動 <ul style="list-style-type: none">◎ 公共交通に関する周知活動や、わかりやすい情報提供◎ 利用環境の整備・改善◎ モビリティマネジメントの取組
持続可能な公共交通のための収支率改善 <ul style="list-style-type: none">◎ 社会情勢や各地域の実状に即した、路線バス運行への見直し◎ 利用者ニーズに応じた効率的な運行への改善
まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none">◎ 居住地から拠点への移動手段の確保と拠点間移動の円滑化による、利便性の高い公共交通の推進◎ みどり市との連携強化
次世代モビリティなど多様な移動手段の構築 <ul style="list-style-type: none">◎ 次世代モビリティなど多様な移動手段による、地域の魅力向上や環境まちづくりの推進◎ 地域住民主体・市民活動団体との協働による地域内交通の確保

2. 基本的な方針・目標について (STEP2・3)



2. 基本的な方針・目標について (STEP2・3)

(1) 基本的な方針 (案)

■ 法定の記載事項 (基本的な方針)

① 目指すべき将来像 : 地域のあるべき姿・なりたい姿



② 担うべき役割 : 公共交通がどのような役割を担うべきか (交通ビジョン：基本理念)

みんなで考え、みんなでつくる
彩りモビリティで つなぐ未来交通

③ 基本方針 : 活性化・再生に向けた取組の方向性

1. 市民総ぐるみによる交通変容への挑戦
2. 既存公共交通の見直しと改善を図る施策の推進
3. 持続可能な未来社会を見据えた施策の推進

■ 補助関連の記載事項

国庫補助事業の活用にあたっては、下記について記載が必要 (補助要綱第7条)

- ① 補助システムの地域の公共交通における位置づけ・役割
- ② 上記を踏まえた、補助事業の必要性
- ③ 補助システムに係る事業及び実施主体の概要
- ④ 計画全体の定量的な目標・効果とその評価手法

※上記のほか、地域公共交通計画の別紙として提出する事項がある

① 位置づけ・役割

: 補助システムについて、幹線・支線の将来像や、コミュニティバス・デマンド交通等に係る取組の方向性など

② 補助事業の必要性

: 地域の公共交通ネットワークにおける各補助システムの機能や役割など

(参考)



2. 基本的な方針・目標について (STEP2・3)

(1) 基本的な方針 (案)

① 位置づけ・役割

位置付け	主な路線	役割	確保維持のための施策
広域 幹線交通	各鉄道路線 JR両毛線、東武桐生線、 わたらせ渓谷線、上毛線	桐生駅、新桐生駅、西桐生駅を起点とし、市街の地域とを広域的につなぐ	交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保する
	高速バス 関越交通、日本中央バス		
地域間 幹線交通	路線バス おりひめバス (中央幹線 (市役所系)、相生線)	市内各地域と市中心部及び市内の地域間をつなぐ	地域公共交通確保維持改善補助金 (幹線補助、車両購入費補助) を活用し、持続的な運行を目指す
	路線バス おりひめバス (上記以外)		交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保する
地域内 交通	乗合タクシー 予約制おりひめ	日常生活や暮らしを支える、地域内の移動手段となる	交通事業者等と連携した取り組みにより一定以上の需要を確保する
	デマンドタクシー 新里地区、黒保根地区		地域公共交通確保維持改善補助金 (フィーダー補助) を活用し、持続的な運行を目指す
その他	タクシー	日常生活や暮らしを支える、地域内の移動手段となる	交通事業者等と連携した取り組みにより一定以上の需要を確保する
	地域の移動サービス 交通空白地有償運送、福祉有償運送、MAYU		
	スクールバス		

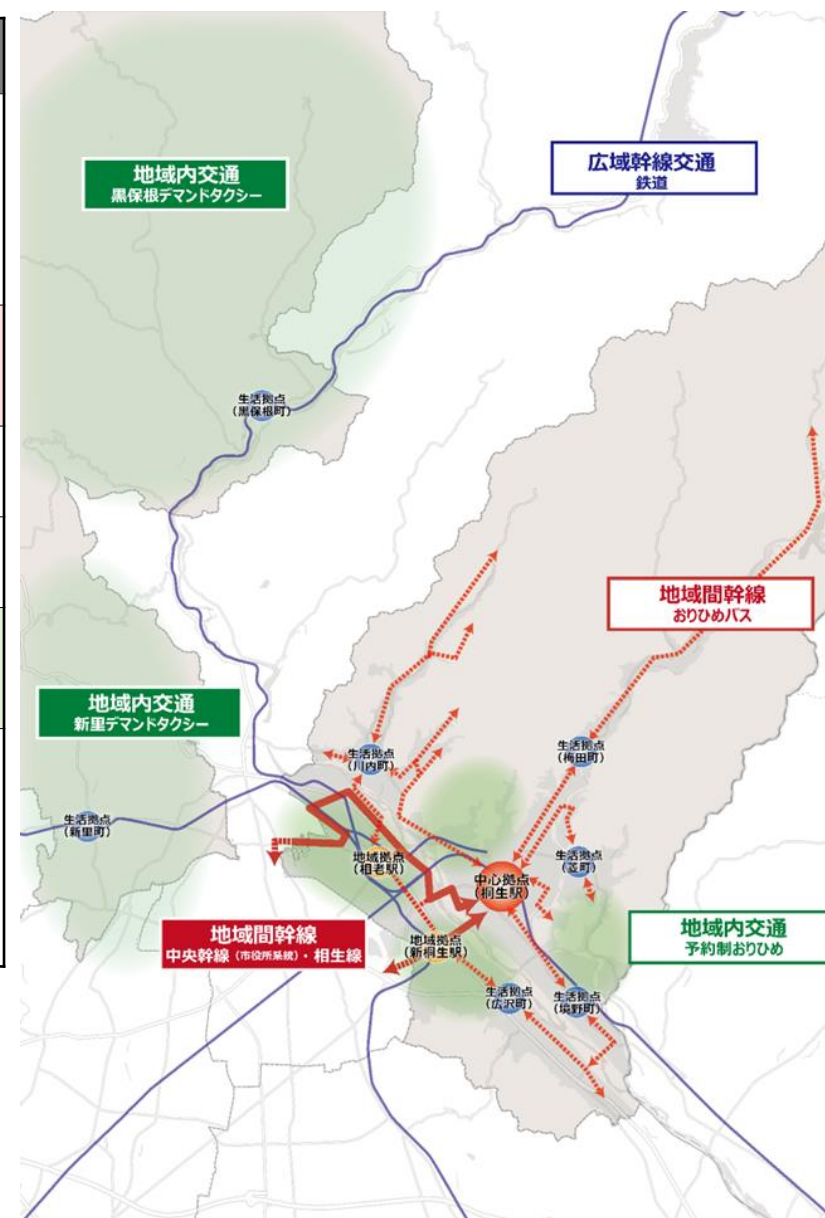
② 補助事業の必要性

○ 地域間幹線

- 桐生市からみどり市への通院・買い物等の日常生活の足として存続が必要な路線である

○ 地域内フィーダー

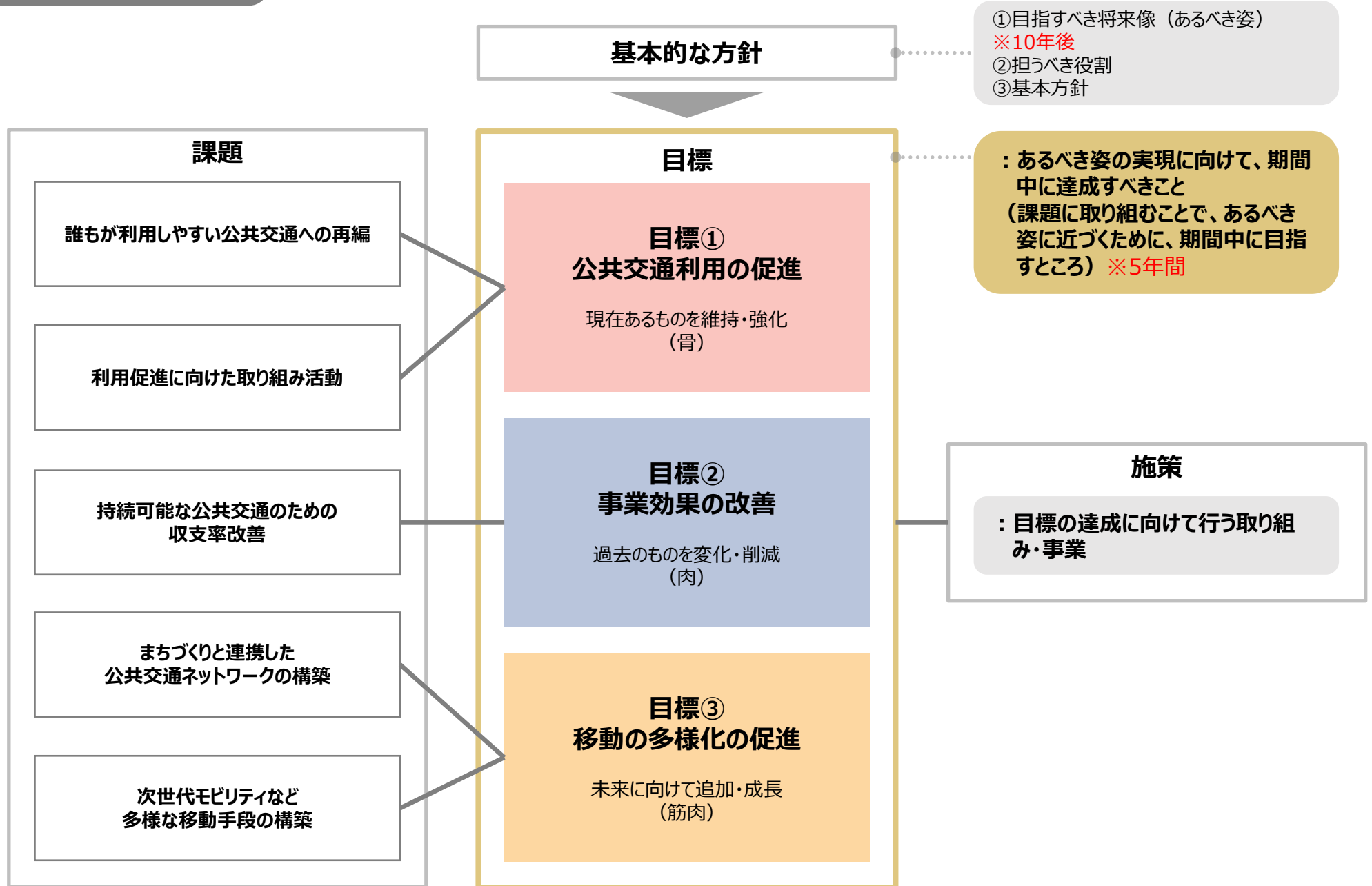
- 特に高齢者等の通院・買い物等の日常生活の足の確保と、公共交通空白地域の解消を推進するために必要な運行サービスである



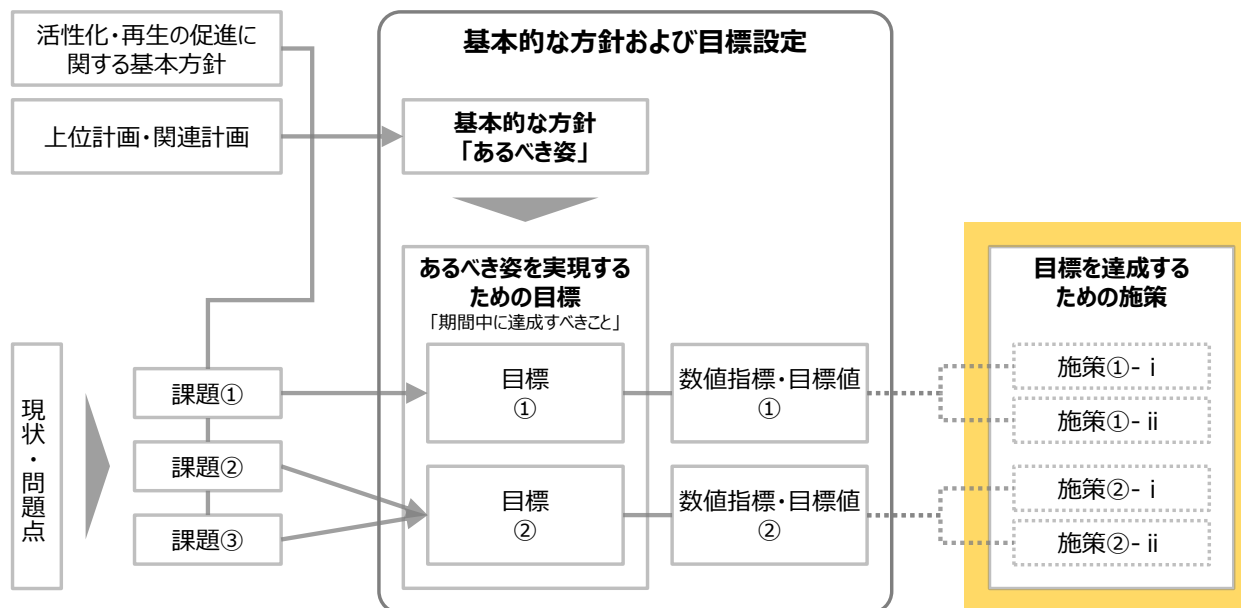
2. 基本的な方針・目標について (STEP2・3)

(2) 目標 (案)

● 目標 (案) の設定



3. 施策について (STEP4)



3. 施策について (STEP4)

(1) 施策 (案)

● 施策体系

※ [] : 重要施策、[関連] : 関連施策

基本方針 (取組の方向性)	個別施策 (目標の達成に向けて行う取組・事業)	目標① 公共交通利用の 促進	目標② 事業効果の 改善	目標③ 移動の多様化の 促進
1. 市民総ぐるみによる交通変容への挑戦	1A 交通に対する意識・行動変容の促進に向けた取り組み	●	●	●
	関連 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け	●		●
	関連 子育て支援の一助となる交通施策の検討	●		
	関連 公共交通の通学利用推進	●	●	
	関連 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の推進	●		●
	関連 公共交通を高校生に慣れ親しんでもらう取り組み	●		●
2. 既存公共交通の見直しと改善を図る施策の推進	2A おりひめバス路線の見直し及び再編に向けた取り組み	●	●	
	2B 予約制乗合タクシー「予約制おりひめ」の利用促進及び見直しの検討	●	●	
	2C 新里町及び黒保根町デマンドタクシーの利用促進及び見直しの検討	●	●	
	関連 バス交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入確保		●	
	2D 4鉄道の維持・充実と将来に向けた検討	●	●	●
	関連 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み	●	●	
	関連 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新		●	
	関連 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進		●	
	関連 小型モビリティ・歩行・自転車利用環境の改善			●
	2E わかりやすく快適で安心・安全なバス環境の改善	●	●	
2F 移動のDXの推進	●	●	●	
3. 持続可能な未来社会を見据えた施策の推進	3A 多様なグリーンスローモビリティの導入			●
	3B MAYUを主軸とした次世代モビリティの導入			●
	関連 自動運転技術活用の検討			●
	3C 新たなモビリティサービスの調査・検討（地域内交通の確保）		●	●
	3D 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他）		●	●
	3E みどり市との連携強化	●		●

3. 施策について (STEP4)

(1) 施策 (案)

■ 法定の記載事項 (事業及び実施主体)

① 取組の目的

② 取組の内容

③ 実施主体

④ スケジュール

: 検討・協議・実施等を記載 (5年間)

⑤ 関連する取組

: 重要施策に関連する施策を記載

※交通ビジョンにおける取組番号を記載し、両者の関連を表現する

例) 2A. おりひめバス路線の見直し及び再編に向けた取り組み

<p>(2) 重要施策 [2]. 既存公共交通の発展(改善)を促す施策の推進</p> <p>2A. おりひめバス路線の見直し及び再編に向けた取り組み</p> <p>交通ビジョン 2.1.1~2.1.3</p>		<p>③ 実施主体</p> <p>市民、交通事業者、桐生市</p>																					
<p>① 取組の目的</p> <p>おひめバスの利用促進を図るため、見直しを行うことで、利便性の向上及び利用者数の増加を図る。</p>		<p>④ スケジュール</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>2024 (R6)</th> <th>2025 (R7)</th> <th>2026 (R8)</th> <th>2027 (R9)</th> <th>2028 (R10)</th> <th>2029~ (R11~)</th> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>●検証</td> <td>●検証</td> <td>●検証</td> <td>●検証</td> <td>●検証</td> <td>●実施</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>●検討</td> <td>●実施</td> <td>●実施</td> <td>●実施</td> <td>●実施</td> <td>●実施</td> </tr> </table>	年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029~ (R11~)	(1)	●検証	●検証	●検証	●検証	●検証	●実施	(2)	●検討	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029~ (R11~)																	
(1)	●検証	●検証	●検証	●検証	●検証	●実施																	
(2)	●検討	●実施	●実施	●実施	●実施	●実施																	
<p>② 取組の内容</p> <p>(1) おりひめバスの見直し及び再編</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線の見直しにあたっては、直近の利用状況および各地域からの意見・要望等をもち、地域住民の意見や要望を踏まえ、公共交通の発展を促す。 人口減少地域や利用者が少ない地域など社会情勢に対応したおりひめバス全体路線の再編のため、路線の再編化を図る。 将来的に選択可能なタイプの運行や、運行上の柔軟な対応に対応した見直しを行う。 <p>令和6~10年度 : 見直しの実施</p> <p>令和8年度~ : おりひめバス路線の再編に向けた検討・実施</p> <p>令和11年4月 : おりひめバス路線の再編の実施 (期行路線に於いては、必要に応じて全線改正)</p>		<p>⑤ 関連する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の標準利用促進 : 1.3.2 公共交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入確保 : 2.1.6 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新 : 2.3.1 車両のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進 : 2.3.2 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み : 2.2.2~2.2.3 																					
<p>(2) 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携による、新保・桐生が必要となる路線の検討や、公共交通に於ける取組の推進を図る。 関係機関との連携による、公共交通の発展を促す。 <p>令和6年度~ : 関係機関との連携による、公共交通の発展を促す。 </p>		<p>⑥ 関係する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の標準利用促進 : 1.3.2 公共交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入確保 : 2.1.6 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新 : 2.3.1 車両のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進 : 2.3.2 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み : 2.2.2~2.2.3 																					

資料2
目標達成のための施策・事業

■ 補助関連の記載事項

国庫補助事業の活用にあたっては、下記について記載が必要 (補助要綱第7条)

- ① 補助系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
- ② 上記を踏まえた、補助事業の必要性
- ③ 補助系統に係る事業及び実施主体の概要
- ④ 計画全体の定量的な目標・効果とその評価手法

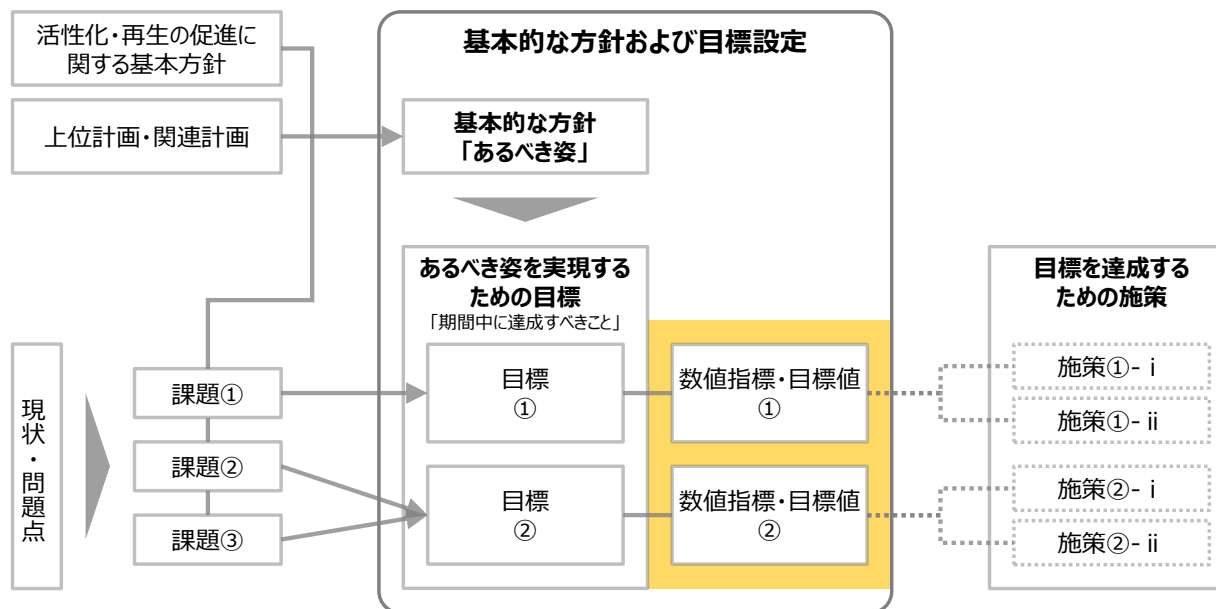
※上記のほか、地域公共交通計画の別紙として提出する事項がある

③ 補助系統に係る事業及び実施主体の概要

: 補助系統を明記するとともに、それぞれの事業内容や実施主体について記載
: あわせて、車両の更新などの事業の方向性などを記載

系統名	運行路線	運行態様	実施主体	補助事業の活用
おりひめバス ・中央幹線 (市役所系)	桐生駅北口 ~新桐生駅 ~(東邦病院)	路線定期 運行	桐生朝日 自動車(株)	幹線補助、 車両購入 費補助
おりひめバス ・相生線	桐生駅北口 ~相生駅 ~二本松団地 ~さくらもーる			
デマンドタクシー ・新里地区	新里地区	区域運行	(株)沼田屋 タクシー	フィーダー 補助
デマンドタクシー ・黒保根地区	黒保根地区			

4. 評価指標・目標値について (STEP5)



4. 評価指標・目標値について (STEP5)

(1) 評価指標・目標値 (案)

■ 法定の記載事項 (達成状況の評価)

目標	評価指標	目標値の考え方
目標① 公共交通利用の促進	公共交通（バス）の利用者数 (人口1人当たり・年間) ※	増加
	公共交通（鉄道）の利用者数 (人口1人当たり・日)	増加
	公共交通の利用率 (日常の移動手段)	増加
	公共交通の利用頻度 (年1回以上の利用)	増加
	公共交通の維持・発展に向けた意識 (「特に何もしない」と回答)	減少
目標② 事業効果の改善	公共交通事業（バス）の収支率※	増加
	公共交通（バス）への公的資金投入額 (利用者1人当たり) ※	維持
目標③ 移動の多様化の促進	次世代モビリティ利用によるCO2削減量	増加
	次世代モビリティ利用人数	増加

■ 補助関連の記載事項

国庫補助事業の活用にあたっては、下記について記載が必要
(補助要綱第7条)

- ① 補助系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
- ② 上記を踏まえた、補助事業の必要性
- ③ 補助系統に係る事業及び実施主体の概要
- ④ 計画全体の定量的な目標・効果とその評価手法

※上記のほか、地域公共交通計画の別紙として提出する事項がある

④ 計画全体の定量的な目標・効果とその評価手法

- ： 地域公共交通計画全体の定量的な目標を設定
- ： 標準指標については、補助事業を活用する場合は、必ず設定する

※標準指標

- 公共交通の利用者数
- 公共交通事業の収支率
- 公共交通への公的資金投入額

(参考)

目標	数値指標	データ取得方法	現況値(R元年度)	目標値(R6年度)
交通事業者との連携強化による路線の維持・改善	市内路線バスの年間利用者数	バス事業者保有の乗降データにより毎年計測	50,000千人/年	55,000千人/年
	青系統の年間利用者数		2,000千人/年	2,100千人/年
市民の外出機会の創出	市民における路線バスの利用率	市民意識調査により毎年計測	40%	45%
地域全体で支える持続可能な公共交通	公共交通に係る市の財政負担額	普通会計決算より毎年整理	3,700万円/年	3,800万円/年
	市内路線バスの収支差	事業者報告書、決算報告書等の資料から毎年計測	▲4,500万円/年	▲4,000万円/年

Check! 収支について

収支については、収支率でも差し支えありません。

Check! データ取得手法

具体的なデータ取得方法について記載してください。

Check! 数値指標・目標値

地域公共交通計画全体の定量的な目標を設定してください。

Check! 個別系統の目標

基本的に、個別の補助系統に関する目標・評価手法等は別紙に記載してください。ただし、特に重要な系統については、個別の補助系統に関する目標を本体に記載しても構いません。

Check! 単位について

利用者1人当たり又は住民1人当たりでも差し支えありません。

4. 評価指標・目標値について (STEP5)

(1) 評価指標・目標値 (案)

目標① 公共交通利用の促進

※ : 標準指標

評価指標	現況値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値の 考え方	利用データ	算出方法	備考
公共交通（バス）の 利用者数 (人口1人当たり・年間)	2.53 (人) (2022年度)	3.20 (人) (2027年度)	増加	市データ	【おりひめバス、予約制おりひめ、デマンドタクシーの年間利用者数の合計】 ÷【市の総人口】	<ul style="list-style-type: none"> 市の総人口：住民基本台帳の3月末日時点の値 目標値：実施計画より
公共交通（鉄道）の 利用者数 (人口1人当たり・日)	40.39 (人) (2021年度)	44.00 (人) (2027年度)	増加	市データ	【市内17各駅の1日平均乗降客数の合計】 ÷【市の総人口】	
公共交通の利用率 (日常の移動手段)	13.2 (%) (2023年度)	20.0 (%) (2027年度)	増加	「市民の声」 アンケート	【「①鉄道、②おりひめバス、③予約制おりひめ・デマンドタクシー」をどれか1つ以上選択した方の合計】 ÷【回答者数】	<ul style="list-style-type: none"> アンケートは2年に1回 現況値：#25「市民の声」アンケート [問17]日常の移動手段には何を利用していますか（複数回答可）
公共交通の利用頻度 (年1回以上の利用)	13.9 (%) (2023年度)	25.0 (%) (2027年度)	増加	市民アンケート	【バス等について、「1.週5回以上」～「4.年1回以上」を選択した方の合計】 ÷【回答者数（無回答除く）】	<ul style="list-style-type: none"> 評価年度にアンケートの実施 [問2]それぞれの公共交通（タクシー、鉄道、バス等）について、あてはまるものを教えてください<利用頻度>
公共交通の維持・発展に向けた意識 (「特に何もしない」と回答)	25.7 (%) (2023年度)	20.0 (%) (2027年度)	減少	市民アンケート	【「7.特に何もしない」を選択した方の合計】 ÷【回答者数（無回答除く）】	<ul style="list-style-type: none"> 評価年度にアンケートの実施 [問9]公共交通の維持・発展のため、あなたはどんなことができますか（複数回答可）

4. 評価指標・目標値について (STEP5)

(1) 評価指標・目標値 (案)

目標② 事業効果の改善

※ : 標準指標

評価指標	現況値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値の 考え方	利用データ	算出方法	備考
公共交通事業 (バス) の 収支率	18.3 (%) (2022年度運行分)	20.0 (%) (2027年度)	増加	市データ	おりひめバス、予約制おりひめ、デマンドタクシーの収支率の平均	<ul style="list-style-type: none"> バス等のみ
公共交通 (バス) への 公的資金投入額 (利用者1人当たり)	587.3 (円) (2022年度決算額)	587.3 (円) (2027年度)	維持	市データ	【おりひめバス、予約制おりひめ、デマンドタクシーの国・県及び市の補助額の合計】 ÷【おりひめバス、予約制おりひめ、デマンドタクシーの利用者数の合計】	<ul style="list-style-type: none"> バス等のみ

目標③ 移動の多様化の促進

評価指標	現況値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値の 考え方	利用データ	算出方法	備考
次世代モビリティ 利用によるCO2削減量	1,063 (kg) (2022年度)	4,663 (kg) (2027年度)	増加	市データ	【1人当たりのCO2排出量 (0.3772kg)】 ×【次世代モビリティ利用人数】	<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティはMAYUのみ 1人当たりのCO2排出量 = CO2排出原単位 (2.32kg/ℓ) × 距離 (2km) ÷ 燃費 (12.3km/ℓ) ※エコ通勤におけるCO2排出量と同じ計算方法
次世代モビリティ 利用人数	2,819 (人) (2022年度)	12,364 (人) (2027年度)	増加	市データ	MAYUの利用人数の合計	<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティはMAYUのみ

5. 今後について

● 検討スケジュール

月	活性化協議会	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5
9	#4 <ul style="list-style-type: none"> ■ 移動実態について ■ 現状調査内容等について 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画区域 (案) ・計画期間 (案) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通が担うべき役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート (案) ニーズ調査 		
				アンケート調査		
12	#5 <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通の課題について ■ 基本方針・目標・施策について 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な方針 (案) 担うべき役割・スローガン 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 (案) ・目標 (案) 課題を踏まえた目標設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策 (案) 目標達成のための事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標・目標値 (案)
1	#6 <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域公共交通計画(案)について 	計画区域・期間	基本的な方針	目標	施策	評価指標・目標値
2				↓		
3	#7 <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域公共交通計画(案)について ■ パブコメの実施方針について 	地域公共交通計画 (素案)				
4				↓		
5		パブリックコメント				
6		公表 (予定)				

資料 2

目標達成のための施策・事業

(1) 施策体系 [①交通ビジョンとの関連について]

※ [] : 重要施策、[関連] : 関連施策



基本方針 (取組の方向性)	「交通ビジョン」 主な取り組み		個別 施策	
1.市民総ぐるみによる交通変容への挑戦 持続可能な桐生のまちづくりに向け、一人ひとりが人と環境に優しい地域交通の姿を描き、利用する意識を高め、自分ごととして移動のあり方を見つめなおすことを促します。また、「ゆっくりズムのまちづくり」の核となる MAYU を活用した公共交通システムの導入に向け、市民総ぐるみで取り組みます。	1-1	1-1-1 「ゆっくりズムのまちづくり」で、楽しく幸せに暮らす価値観の醸成	1A	
		1-1-2 市民が一体となって考え、創り支える公共交通		
		1-1-3 モビリティ・マネジメントの取り組み		
		1-1-4 公共交通利用による健康増進対策		
	1-2	1-2-1 乗って楽しく利用しなくなる仕掛け(鉄道編)	関連	
		1-2-2 乗って楽しく利用しなくなる仕掛け(バス・次世代モビリティ編)		
	1-3	1-3-1 子育て支援の一助となる交通施策の検討	関連	
		1-3-2 子どもたちの通学に役立つ交通施策の検討	関連	
		1-3-3 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の推進	関連	
		1-3-4 公共交通を高校生に慣れ親しんでもらう取り組み	関連	
2.既存公共交通の見直しと改善を図る施策の推進 JR 両毛線、東武鉄道、上毛電気鉄道、わたらせ渓谷鐵道、おりひめバス、予約制おりひめ、デマンドタクシーといった既存公共交通は、人々の生活や経済活動に欠かせない交通基盤ですが、利用されなければ維持できません。市民一人ひとりが自分たちの交通手段として運行を支えて育てるため、行動を変えていく働きかけを行いつつ、整備改善を図り、利便性の高い交通システムの実現を目指します。	2-1	2-1-1 おりひめバスの地域ごとの路線見直し	2A	
		2-1-2 社会情勢の変化に対応したおりひめバス全体路線の再編、幹線となる公共交通軸の明確化		
		2-1-3 コンパクト・プラス・ネットワークによる都市構造へのおりひめバス路線再編		
		2-1-4 予約制乗合タクシー「予約制おりひめ」の見直し		2B
		2-1-5 新里地区及び黒保根地区の移動手段強化		2C
		2-1-6 バス交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入の確保		関連
	2-2	2-2-1 4 鉄道の維持・充実と将来に向けた検討	2D	
		2-2-2 鉄軌道間のネットワーク強化	関連	
		2-2-3 4 鉄道の各沿線協議会等での支援	関連	
	2-3	2-3-1 鉄道及びバス交通の計画的な車両更新	関連	
		2-3-2 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進	関連	
		2-3-3 小型モビリティ・歩行・自転車利用環境の改善	関連	
		2-3-4 わかりやすいバスの利用案内	2E	
		2-3-5 駅やバス停の改善	2E	
		2-3-6 安心して乗車できる運行体制の確保	2E	
		2-3-7 移動の DX 推進	2F	
	3.持続可能な未来社会を見据えた施策の推進 持続可能な未来社会の実現に向け、各地域の実情を踏まえた地域内交通の構築を進める中で、新しい移動手段である電動モビリティの導入と活用を推進し、地球環境に配慮しつつ、誰もが今より移動しやすくなる地域の実現を目指します。また、住民の生活圏や運行業務の効率性等を考慮し、広域的観点から、みどり市をはじめ近隣自治体との相互連携による交通施策を検討します。	3-1	3-1-1 多様なグリーンスローモビリティの導入	3A
3-1-2 MAYU を主軸とした次世代モビリティの導入			3B	
3-1-3 自動運転技術の活用検討			関連	
3-2		3-2-1 地域住民主体・市民活動団体との協働による地域内交通の確保	3C	
		3-2-2 シェアリングエコノミーの活用	3D	
		3-2-3 民間タクシーを活用した交通モードの導入	3D	
3-3		3-3-1 バス・タクシーの連携強化	3E	
		3-3-2 広域バスの検討	3E	

(1) 施策体系 [②目標との関連について]

- 目標①：公共交通利用の促進 <現在あるものを維持・強化（骨）>
 目標②：事業効果の改善 <過去のものを変化・削減（肉）>
 目標③：移動の多様化の促進 <未来に向けて追加・成長（筋肉）>

基本方針 (取組の方向性)	個別施策 (目標の達成に向けて行う取組・事業)	目標 ①	目標 ②	目標 ③
1.市民総ぐるみによる交通変容への挑戦	1A 交通に対する意識・行動変容の促進に向けた取り組み	●	●	●
	関連 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け	●		●
	関連 子育て支援の一助となる交通施策の検討	●		
	関連 公共交通の通学利用推進	●	●	
	関連 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の推進	●		●
2.既存公共交通の見直しと改善を図る施策の推進	関連 公共交通を高校生に慣れ親しんでもらう取り組み	●		●
	2A おりひめバス路線の見直し及び再編に向けた取り組み	●	●	
	2B 予約制乗合タクシー「予約制おりひめ」の利用促進及び見直しの検討	●	●	
	2C 新里町及び黒保根町デマンドタクシーの利用促進及び見直しの検討	●	●	
	関連 バス交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入確保		●	
	2D 4 鉄道の維持・充実と将来に向けた検討	●	●	●
	関連 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み	●	●	
	関連 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新		●	
	関連 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進		●	
	関連 小型モビリティ・歩行・自転車利用環境の改善			●
2E わかりやすく快適で安心・安全なバス環境の改善	●	●		
2F 移動の DX の推進	●	●	●	
3.持続可能な未来社会を見据えた施策の推進	3A 多様なグリーンスローモビリティの導入			●
	3B MAYU を主軸とした次世代モビリティの導入			●
	関連 自動運転技術活用への検討			●
	3C 新たなモビリティサービスの調査・検討（地域内交通の確保）		●	●
	3D 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他）		●	●
3E みどり市との連携強化	●	●	●	

(2) 重要施策 [1. 市民総ぐるみによる交通変容への挑戦]

<p>1A. 交通に対する意識・行動変容の促進に向けた取り組み</p>	<p>交通ビジョン 1-1-1～1-1-4</p>
<p>① 取組の目的</p>	
<p>人と環境にやさしい、人と人とのふれあいがあるスローライフを楽しむ価値観の共有により、マイカーから公共交通・自転車・徒歩などの行動変容を促し、環境負荷の小さい持続可能な交通まちづくりを推進する</p>	
<p>② 取組の内容</p>	
<p>(1) MAYU の本質的利用とゆとりある暮らしの提案</p>	
<p>・「ゆっくりズムのまちづくり」で、価値観の転換と行動変容を促進する</p>	
<p>令和 6 年度～</p>	<p>： 桐生発祥の低速電動コミュニティバス（MAYU）を活用した低速交通の積極利用（実施） ： 「ゆっくりズムのまちづくり」に関する講演会・勉強会・広報活動等の実施【継続】</p>
<p>(2) 公共交通の利用促進</p>	
<p>・ 公共交通に対する認知度や利用意識の向上に資する取り組みの推進を図る</p>	
<p>令和 6 年度～</p>	<p>： 市民主導による勉強会等の実施 ： 市の出前講座「おりひめバスの乗り方」の積極的利用の推進と、同講座に「桐生市交通ビジョン」に関するメニューを追加し実施 ： 社会福祉協議会と連携した「おりひめバスの乗り方教室」を実施 ： 市内のイベントなどにおいて、おりひめバスや MAYU を中心とした次世代モビリティを展示・紹介・試乗の実施 ： 運転免許証自主返納者や群馬大学学生へのバス無料券等の交付（実施）【継続】</p>
<p>(3) 公共交通による健康増進対策</p>	
<p>・ 乗って楽しいモビリティの導入を推進し、外出機会を促す</p>	
<p>・ 市民の健康づくりに向けた施策との連携を図る</p>	
<p>令和 6 年度～</p>	<p>： 外出やコミュニケーションの機会創出などによる活用方法の検討</p>
	
<p>おりひめバス出前講座の様子（R4 昭和公民館）</p>	<p>次世代モビリティの展示・紹介（R4 新川公園）</p>

③ 実施主体						
市民、交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●実施	→	→	→	→	→
	●実施【継続】	→	→	→	→	→
(2)	●実施	→	→	→	→	→
	●実施【継続】	→	→	→	→	→
(3)	●検討	→	→	→	→	→
⑤ 関連する取組						
● 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け					1-2-1～1-2-2	
令和6年度～	: バスや MAYU に乗ってみたいくなる仕掛けの検討 ・ 企画イベントバス運行の検討 ・ MAYU など次世代モビリティを身近に感じてもらう取り組みの検討 ・ 商店街や商業施設と連携した企画の検討 ・ おりひめバスフリーデイの実施検討					
● 子育て支援の一助となる交通施策の検討					1-3-1	
令和6年度～	●●					
● 公共交通の通学利用増進					1-3-2	
令和6年度～	: 公共交通利用通学費補助金制度の実施【継続】					
● 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の推進					1-3-3	
令和6年度～	: 小学校夏休み図画コンクールの実施【継続】 : 未来創生塾を通して MAYU を活用した学習（小学校）の実施【継続】 : 中高生についての MAYU を活用した学習検討					
● 公共交通を高校生に慣れ親んでもらう取り組み					1-3-4	
令和6年度～	●●					

(2) 重要施策 [2. 既存公共交通の見直しと改善を図る施策の推進]

2A. おりひめバス路線の見直し及び再編に向けた取り組み	交通ビジョン 2-1-1～2-1-3																		
① 取組の目的																			
より無駄のない効率的な路線へと随時見直しを行うことで、利便性の向上及び利用者数の増加を図る																			
② 取組の内容																			
(1) おりひめバスの見直し及び再編																			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線の見直しにあたっては、直近の利用状況および各地域から寄せられた意見・要望等をもとに、地域ごとに住民と意見交換を行う ・ 人口減少地域や利用者が少ない地域など社会情勢に対応したおりひめバス全体路線の再編のため、幹線軸の明確化を図る ・ 慢性的に遅れが生じるダイヤの調整や、運転士の働き方改革に対応した見直しを行う 																			
令和 6～10 年度	: 現路線の検証 : 路線ごとの見直しの検討・実施																		
令和 8 年度～	: おりひめバス路線再編の検討を行う協議組織を設置し、路線全体の見直し・再編に向けた協議を開始																		
令和 11 年 4 月	: おりひめバス路線の再編の実施（現行路線になって 8 年ぶりの全体改正）																		
(2) 国庫補助金の活用																			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国庫補助金については、確保・維持が必要な路線の持続可能な運行や、公共交通にかかる取り組みの促進を図る ・ 県補助金については、日常生活に必要な交通手段の確保を図る 																			
令和 6 年度～	: 国庫補助金の活用の検討・実施（地域間幹線系統補助、車両購入に係る補助、地域公共交通利便増進事業 等） : 県補助金の活用の実施（群馬県市町村乗合バス運行費補助・車両購入に係る補助）																		
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>希望する内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①</td> <td>行ける場所を増やす</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td>本数、運行回数を増やす</td> <td>543</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td>値上げしてもいいので便利にして欲しい</td> <td>816</td> </tr> <tr> <td>多少不便になっても値上げはしないで欲しい</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③</td> <td>昼間の運行を多くして欲しい</td> <td>682</td> </tr> <tr> <td>朝や夜の運行を多くして欲しい</td> <td>341</td> </tr> </tbody> </table>		項目	希望する内容	件数	①	行ける場所を増やす	492	本数、運行回数を増やす	543	②	値上げしてもいいので便利にして欲しい	816	多少不便になっても値上げはしないで欲しい	224	③	昼間の運行を多くして欲しい	682	朝や夜の運行を多くして欲しい	341
項目	希望する内容	件数																	
①	行ける場所を増やす	492																	
	本数、運行回数を増やす	543																	
②	値上げしてもいいので便利にして欲しい	816																	
	多少不便になっても値上げはしないで欲しい	224																	
③	昼間の運行を多くして欲しい	682																	
	朝や夜の運行を多くして欲しい	341																	
バス等の見直しに関する意見・要望（市民アンケート：問 6）																			

③ 実施主体						
市民、交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	● 検証					
	● 検討・実施					
			● 路線再編の協議			● 実施
(2)	● 検討・実施					
	● 実施					
⑤ 関連する取組						
● 公共交通の通学利用増進						1-3-2
令和 6 年度～ : 公共交通利用通学費補助金制度の実施【継続】						
● バス交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入確保						2-1-6
令和 6 年度～ : バスの車体ラッピングを中心に広告収入の確保を推進						
令和 8 年度 : おりひめバス運行事業検討委員会を設置し、運賃見直しの検討を開始						
令和 11 年 4 月 : おりひめバス路線の全体改正に合わせ、運賃の見直しを実施						
● 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み						2-2-2～2-2-3
令和 6 年度～ : 軌道間ネットワークの強化						
● 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新						2-3-1
令和 6 年度～ : バス 群馬県の更新基準を超えた現車両を計画的に更新 社会情勢の変化などを踏まえ、EV 車両やワゴン車の導入検討						
● 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進						2-3-2
令和 6 年度～ : ノンステップバス車両の導入推進						

2B. 予約制乗合タクシー「予約制おりひめ」の利用促進及び見直しの検討	交通ビジョン 2-1-4
--	-----------------

① 取組の目的

各地域の事情に沿った取り組みを進めることで、潜在需要の創出や利便性の向上を図る

② 取組の内容

(1) 予約制乗合タクシー「予約制おりひめ」の利用促進

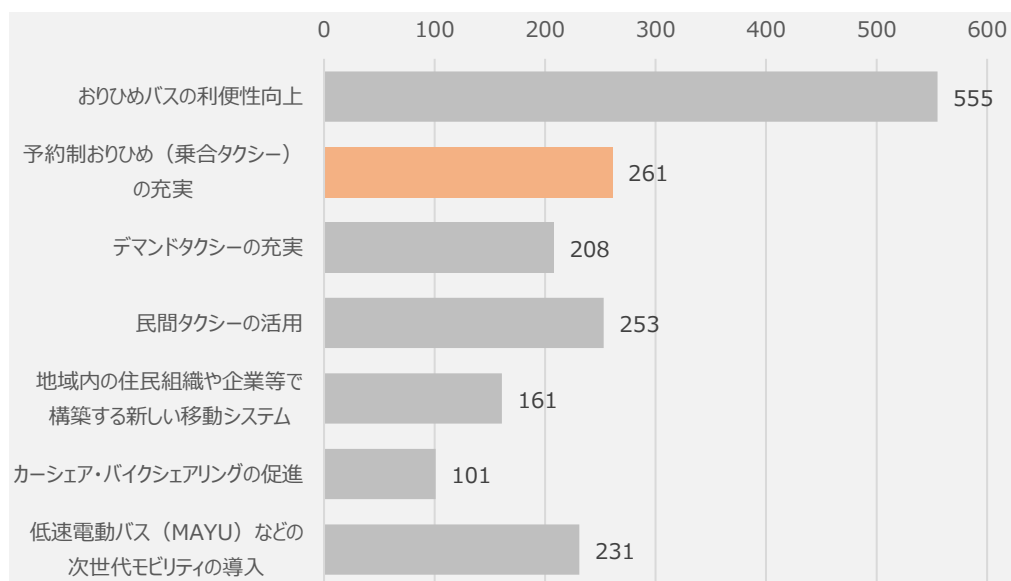
- ・ 利用につながる周知案内と利便性向上への対策を行う

令和 6 年度～	: 利用促進対策の実施【継続】
----------	-----------------

(2) 予約制乗合タクシー「予約制おりひめ」の見直し

- ・ 既存路線の拡充や新路線の導入、運行制度の見直しを図る

令和 6～10 年度	: 現路線の検証 : 見直しの検討・実施
令和 8 年度～	: おりひめバス路線再編の検討を行う協議組織を設置し、制度の見直しに向けた協議を開始
令和 11 年 4 月	: おりひめバス路線の全体改正に合わせ、地域の実情に合った制度に改正を実施




マイカー以外の移動手段の要望（市民の声アンケート：問 19）

③ 実施主体						
交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●実施【継続】					→
(2)	●検証					→
	●検討・実施					→
			●協議			→ ●実施
⑤ 関連する取組						
● 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進					2-3-2	
	令和 6 年度～	: ユニバーサルデザインタクシーの導入推進				

2C. 新里町及び黒保根町デマンドタクシーの利用促進及び見直しの検討	交通ビジョン 2-1-5																		
① 取組の目的																			
各地域の事情に沿った取り組みを進めることで、利用者の増加や必要としている利用者が適切に利用できるようにする																			
② 取組の内容																			
(1) 新里町及び黒保根町デマンドタクシーの利用促進																			
・ 相乗りの抵抗感なく利用いただけるような取り組みを進める																			
令和6年度～	：利用促進対策の実施【継続】																		
(2) 新里町及び黒保根町デマンドタクシーの見直し																			
・ 地域外の主要施設への移動手段の強化などの利便性向上を図る																			
令和6年度～	：運行内容と制度の見直しの検討 ：AI 予約システムの導入検討																		
(3) 国庫補助金の活用																			
・ 国庫補助金については、確保・維持が必要な路線の持続可能な運行を図る																			
・ 県補助金については、日常生活に必要な交通手段の確保を図る																			
令和6年度～	：国庫補助金の活用の実施（地域内フィーダー系統補助） ：県補助金の活用の実施（群馬県市町村乗合バス補助）																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的地までのバスがない</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>利用したい時間帯にバスがない</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>最寄りのバス停が遠い</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>乗換や待ち時間が面倒</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>運賃がかかる（負担に感じる）</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>最寄りのバス停や運行経路、時間がわからない</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>バスやデマンドタクシー等の乗り方がわからない</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー対応ができていない</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>		理由	人数	目的地までのバスがない	69	利用したい時間帯にバスがない	71	最寄りのバス停が遠い	62	乗換や待ち時間が面倒	54	運賃がかかる（負担に感じる）	54	最寄りのバス停や運行経路、時間がわからない	49	バスやデマンドタクシー等の乗り方がわからない	28	バリアフリー対応ができていない	16
理由	人数																		
目的地までのバスがない	69																		
利用したい時間帯にバスがない	71																		
最寄りのバス停が遠い	62																		
乗換や待ち時間が面倒	54																		
運賃がかかる（負担に感じる）	54																		
最寄りのバス停や運行経路、時間がわからない	49																		
バスやデマンドタクシー等の乗り方がわからない	28																		
バリアフリー対応ができていない	16																		
バス等を「使いたい、使うことが難しい」理由（市民アンケート：問4A）																			

③ 実施主体						
交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●実施【継続】					→
(2)	●検討					→
(3)	●実施					→
⑤ 関連する取組						
● 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進					2-3-2	
令和 6 年度～		: ユニバーサルデザインタクシーの導入推進				

2D. 4 鉄道の維持・充実と将来に向けた検討	交通ビジョン 2-2-1
① 取組の目的	
各鉄道会社と自治体等が連携協力する中で、将来あるべき形を検討していくことで、各路線の維持・充実を図る	
② 取組の内容	
(1) それぞれの路線の将来に向けた検討	
・ 各鉄道会社と自治体や商工会議所等が連携協力し検討を行う	
令和 6 年度～	: 令和 5 年度に設置された沿線地域交通「リ・デザイン推進協議会」で上毛電気鉄道及びわたらせ渓谷鐵道沿線の「地域公共交通計画」を策定し、再構築に向けたあり方を検討
(2) それぞれの路線の維持・充実	
・ 各鉄道の協議会を通じ広域的な視点から利用の促進を図る	
・ 駅へのアクセスや駅からの行動をしやすくする	
令和 6 年度～	: 各鉄道の協議会等を通して、鉄道の魅力をアピールする活動を支援（実施） : パークアンドライドやサイクルトレインなどの推進（実施）
	
わ鐵ピカピカ大作戦 (R1)	上電フォトコン

③ 実施主体						
交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●検討					→
(2)	●実施					→
⑤ 関連する取組						
● 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け						1-2-1～1-2-2
	令和6年度～	: 鉄道事業者が実施するイベント列車等への支援を実施				
● 公共交通の通学利用増進						1-3-2
	令和6年度～	: 公共交通利用通学費補助金制度の実施【継続】				
● 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の推進						1-3-3
	令和6年度～	: 小学校夏休み図画コンクールの実施【継続】				
● 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み						2-2-2～2-2-3
	令和6年度～	: 軌道間ネットワークの強化 : 4 鉄道の各沿線協議会等での支援				
● 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新						2-3-1
	令和6年度～	: 鉄道 上毛線再生協議会及びわたらせ渓谷鐵道再生協議会で検討				

2E. わかりやすく快適で安心・安全なバス環境の改善	交通ビジョン 2-3-4～2-3-6
-----------------------------------	-----------------------

① 取組の目的

交通事業者と協力しながらバス環境の改善を進め、公共交通の利用者が安全・安心で快適に移動できるようにする

② 取組の内容

(1) わかりやすいバスの利用案内

- ・ 利用者にわかりやすい情報発信と丁寧な案内を行い、公共交通の利用促進を図る
- | | |
|----------|----------------------------------|
| 令和 6 年度～ | ：おりひめバスの路線図、時刻表の改善（実施） |
| | ：市ホームページやバスロケーションシステムの情報発信強化（実施） |

(2) バス停の利用環境整備

- ・ 利用者が運行情報などを確認しつつ、安全・安心に待っていただけるような環境づくりに配慮する
- | | |
|----------|--------------------------|
| 令和 6 年度～ | ：老朽化したバス停の計画的な更新の実施 |
| | ：バス停表示板の分かりやすい案内表示を検討・実施 |

(3) 安心して乗車できる運行体制の確保

- ・ 運行事業者と連携し、運転士による接客サービスが適切に行われるようにする
- | | |
|----------|------------------------------|
| 令和 6 年度～ | ：おりひめバスモニター制度の実施【継続】 |
| | ：バス運転士の確保対策の実施 |
| | ：バス運転士の丁寧な利用案内と安全運転への取り組みの実施 |



おりひめバス・予約制おりひめ全体路線図



令和 3 年の駅前広場整備に合わせて移設更新された新桐生駅バス待合所

③ 実施主体						
交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029~ (R11~)
(1)	●実施 →					
(2)	●実施 →					
	●検討・実施 →					
(3)	●実施【継続】 →					
	●実施 →					
⑤ 関連する取組						
● —						

2F. 移動のDX推進	交通ビジョン 2-3-7
-------------	-----------------

① 取組の目的

移動のDXを進めることにより、公共交通による移動の効率性・利便性を高め、自家用車から公共交通への利用の転換を図る

② 取組の内容

(1) MaaSの推進

- ・マイカー以外の移動手段を一つのサービスとしてつなぎ、公共交通の利便性を向上させる

令和6年度～	: MaaS環境の構築、導入の検討
	: GunMaaSへの参加検討

(2) おりひめバスにおける運行状況の見える化の強化

- ・利用者にわかりやすい情報提供により、公共交通の利用促進を図る

令和6年度～	: バスロケーションシステムの充実（実施）【継続】[再掲]
	: デジタルサイネージの設置（検討）

(3) デマンドタクシーにおけるAI技術活用の推進

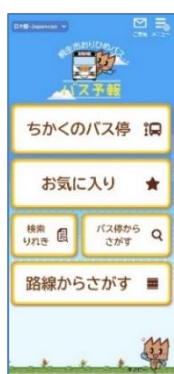
- ・効率的な配車、予約時の利便性向上を図る

令和6年度～	: AI予約システムの導入検討 [再掲]
--------	----------------------

(4) キャッシュレス化の推進

- ・キャッシュレス決済の導入により、利用者の利便性向上を図る

令和6年度～	: 多様化するキャッシュレス決済システム導入の調査・検討
	: 本市の電子地域通貨「桐ペイ（きりぺい）」の対応検討・実施



バス予報スマホ画面



群馬県庁内に設置のデジタルサイネージ

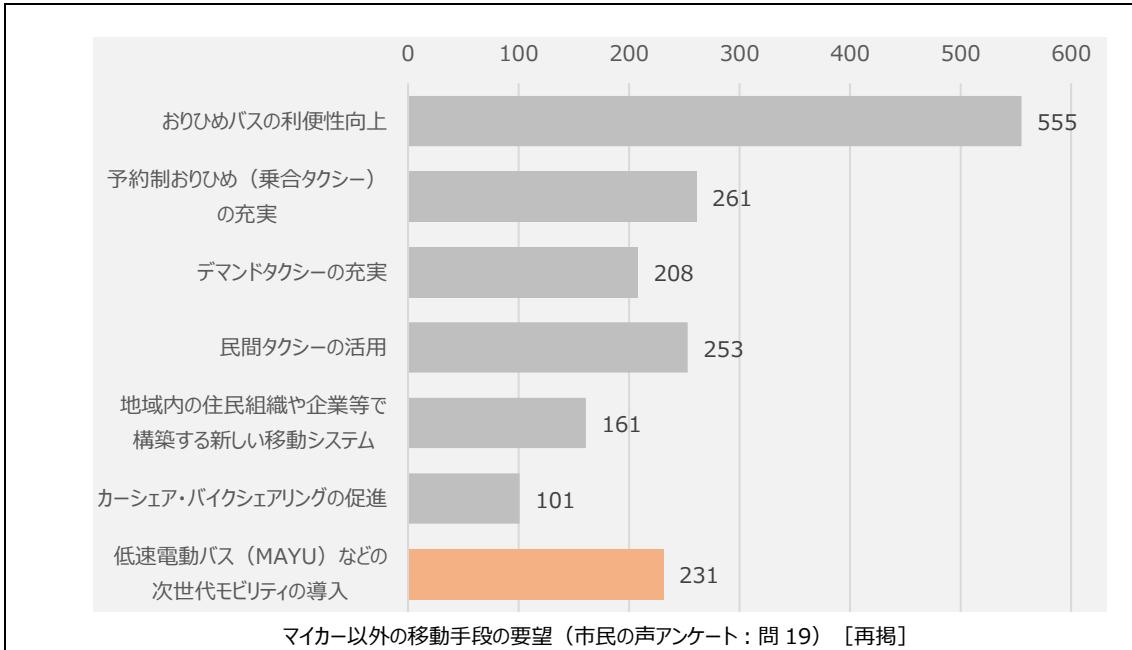


桐ペイ、スマホ利用画面

バス等の整備に関する優先順位（市民アンケート：問7）																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備項目</th> <th>優先順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待合所やベンチをきれいにする、新しく作る</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>電子マネーや交通系ICカードに対応する</td> <td>387</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー対応など乗りやすい車両に替える</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>ネットで定期券の購入やデマンドの予約が取れるようにする</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>電子掲示板で運行情報を発信する</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>乗り方の相談ができる場所を増やす（電話・窓口）</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table>							整備項目	優先順位	待合所やベンチをきれいにする、新しく作る	305	電子マネーや交通系ICカードに対応する	387	バリアフリー対応など乗りやすい車両に替える	329	ネットで定期券の購入やデマンドの予約が取れるようにする	136	電子掲示板で運行情報を発信する	235	乗り方の相談ができる場所を増やす（電話・窓口）	292
整備項目	優先順位																			
待合所やベンチをきれいにする、新しく作る	305																			
電子マネーや交通系ICカードに対応する	387																			
バリアフリー対応など乗りやすい車両に替える	329																			
ネットで定期券の購入やデマンドの予約が取れるようにする	136																			
電子掲示板で運行情報を発信する	235																			
乗り方の相談ができる場所を増やす（電話・窓口）	292																			
③ 実施主体																				
交通事業者、桐生市																				
④ スケジュール																				
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)														
(1)	● 検討					→														
(2)	● 実施【継続】	—————→				→														
	● 検討					→														
(3)	● 検討					→														
(4)	● 調査・検討					→														
	● 検討・実施					→														
⑤ 関連する取組																				
● —																				

(2) 重要施策 [3. 持続可能な未来社会を見据えた施策の推進]

<p>3A. 多様なグリーンスローモビリティの導入</p>	<p>交通ビジョン 3-1-1</p>
<p>① 取組の目的</p>	
<p>見た人が乗ってみたいくなる魅力を持ったグリーンスローモビリティの活用を推進することで、低炭素型・脱炭素型の持続可能な交通、持続可能な地域社会の実現を目指す</p>	
<p>② 取組の内容</p>	
<p>(1) 導入の検討</p>	
<p>・ 地域の実情に応じ、交通を始めとする様々な課題解決を図る</p>	
<p>令和6年度～</p>	<p>: 多様なグリーンスローモビリティの活用の検討</p>
<p>(2) 国庫補助の活用</p>	
<p>・ SDGs、車両購入</p>	
<p>令和6年度～</p>	<p>: 国庫補助の活用の検討 (●●補助)</p>
	
<p>グリーンスローモビリティ (軽自動車)</p>	<p>グリーンスローモビリティ (小型自動車 (AR-07))</p>
	
<p>グリーンスローモビリティ (普通自動車 (eCOM-10))</p>	



③ 実施主体						
交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●検討					→
(2)	●検討					→
⑤ 関連する取組						
● 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け						1-2-1～1-2-2
令和 6 年度～	: バスや MAYU に乗ってみたいとなる仕掛けの検討 ・ 企画イベントバス運行の検討 ・ MAYU など次世代モビリティを身近に感じてもらう取り組みの検討 ・ 商店街や商業施設と連携した企画の検討					

3B. MAYU を主軸とした次世代モビリティの導入

交通ビジョン
3-1-2

① 取組の目的

移動の選択肢を増やすことで、地球環境に配慮しつつ、誰もが今より移動しやすくなる地域の実現を目指す

② 取組の内容

(1) 観光施策としての MAYU の活用

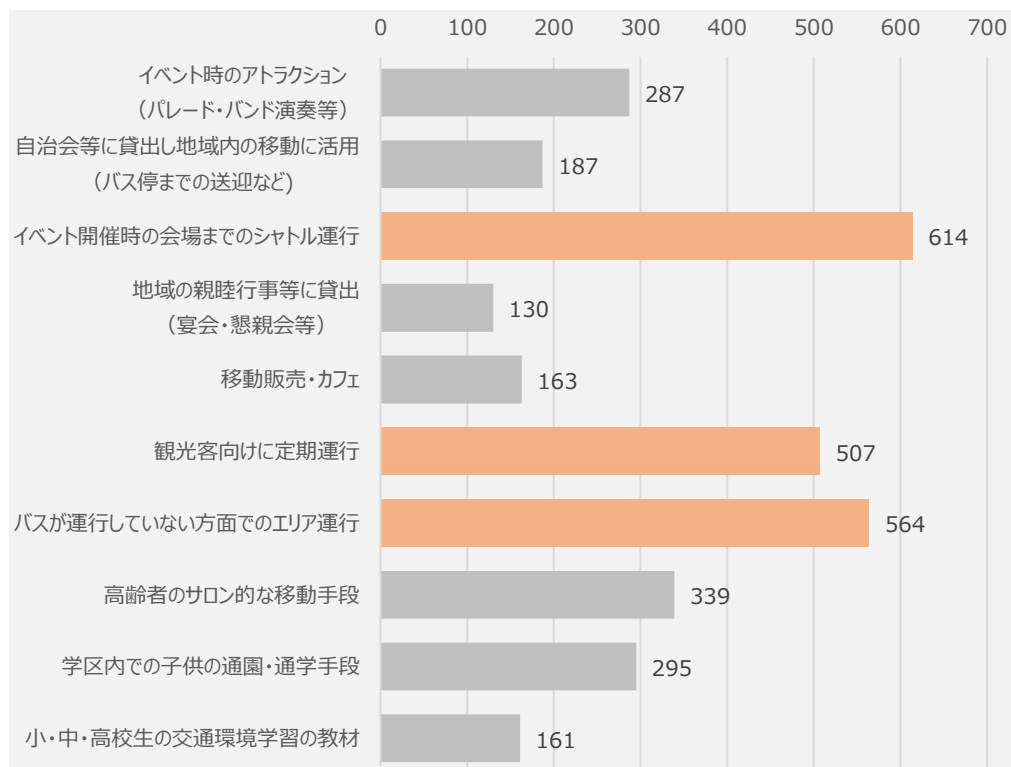
- ・ MAYU を活用した観光のさらなる充実を図る

令和 6 年度～	: 観光施策としての MAYU の運行（実施）【継続】
	: 利便性、回遊性を考慮した新ルートを検討
	: 重伝建地区に人を呼び込むための MAYU の実証運行（検証）

(2) さらなる MAYU の活用

- ・ さらなる活用を推進するため、「産学官民金連携」の取り組みを進める

令和 6 年度～	: 群馬大学が実施する MAYU を含む次世代モビリティの活用に関する実証実験の協力（実施）【継続】
	: 地域ごとに運行する地域内交通における MAYU の実証運行（実施・検証）
	: 外出やコミュニケーションの機会創出などによる活用方法の実施・検証



MAYU の活用目的 (市民アンケート: 問 10)



グリーンスローモビリティ (eCOM-8²)



eCOM シリーズの自動運転車両 (試作車)

③ 実施主体

交通事業者、大学、桐生市

④ スケジュール

年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●実施【継続】	→				
	●検討	→				
	●検証	→				
(2)	●実施【継続】	→				
	●実施・検証	→				

⑤ 関連する取組

● 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け	1-2-1～1-2-2
令和 6 年度～	<ul style="list-style-type: none"> バスや MAYU に乗ってみたいとなる仕掛けの検討 企画イベントバス運行の検討 MAYU など次世代モビリティを身近に感じてもらう取り組みの検討 商店街や商業施設と連携した企画の検討
● 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の推進	1-3-3
令和 6 年度～	<ul style="list-style-type: none"> 小学校夏休み図画コンクールの実施【継続】 未来創生塾を通して MAYU を活用した学習（小学校）の実施【継続】 中高生についての MAYU を活用した学習検討
● 自動運転技術活用の検討	3-1-3
令和 6 年度～	群馬大学理工学部による自動運転技術の研究を支援

3C. 新たなモビリティサービスの調査・検討（地域内交通の確保）	交通ビジョン 3-2-1
① 取組の目的	
各地域の特性と実情を踏まえた実用性の高い交通モードへの転換を見据えた地域内交通の構築を図る	
② 取組の内容	
(1) 地域住民主体・市民活動団体との協働による地域内交通の確保	
<ul style="list-style-type: none"> 行政や関係者と連携・協力しながら、地域住民が主体となった仕組みづくりを検討する 従来の公共交通ネットワークを補完し、地域の実情に応じた移動手段とするため、自家用有償旅客運送や既存の民間事業者による送迎サービスなども勘案した地域内交通の確保を検討する 	
令和 6 年度～	: 地域ごとに運行する地域内運行のモデル地区を選定し、地域住民代表者らで組織する地域内交通構築検討会(仮称)を設置し、構築に向けた協議・検討を開始
令和 11 年 4 月	: おりひめバスの全体改正に合わせ、実証運行を開始（検証）
	
交通空白地有償運送（黒保根地区） 特定非営利法人グループ 28	MAYU を活用した地域内交通の検討

③ 実施主体						
市民、交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●協議・検討					●検証
⑤ 関連する取組						
● 小型モビリティ・歩行・自転車利用環境の改善					2-3-3	
令和6年度～		: ●●				

3D. 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他）	交通ビジョン 3-2-2～3-2-3
① 取組の目的	
地域住民にとって利便性の高い移動手段を確保し、地域内交通システムの最適化を図る	
② 取組の内容	
(1) シェアリングエコノミーの活用	
・ 移動にかかる経済的な負担を軽減するとともに、桐生市ならではのゆとりあるライフスタイルの実現を目指す	
令和 6 年度～	: レンタサイクルの充実（実施） : 新たなレンタサイクルシステムやカーシェアリングの検討 : ライドシェアの研究・検討（ライドシェア導入に関する市の関与研究）
(2) 民間タクシーを活用した交通モードの導入	
・ 地域の移動ニーズに合った適材適所の手段や、新たな移動に関する取り組みを検討	
令和 6 年度～	: 民間タクシーを活用した移動手段の検討 : 民間タクシー事業者等との協議を開始（実証事業などの方策を検討）
	
市保有の公用車	JR 桐生駅レンタサイクル

③ 実施主体						
交通事業者、桐生市						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029～ (R11～)
(1)	●実施	→				
	●検討	→				
	●研究・検討	→				
(2)	●検討	→				
	●協議	→				
⑤ 関連する取組						
● 小型モビリティ・歩行・自転車利用環境の改善					2-3-3	
令和6年度～		: ●●				

3E. みどり市との連携強化	交通ビジョン 3-3-1～3-3-2
-----------------------	-----------------------

① 取組の目的

バスやタクシーなどの活用による両市交通のボーダーレス化に取り組み、両市域での一体的な公共交通ネットワークの構築を図る

② 取組の内容

(1) バス・タクシーの連携強化

- ・ バス交通について、みどり市をはじめ近隣自治体との乗り入れポイントを拡充し、市民のさらなる利便性向上を図る
- ・ 黒保根町デマンドタクシーについて、他の交通システムとの役割を明確にし、連携を図る

令和6年度～	: バス・タクシーの連携強化に向けた検討
--------	----------------------

(2) 広域バスの検討

- ・ 両市をつなぐ4鉄道との相互連携や役割分担を明確にし、両市民の相乗効果が得られるようにする
- ・ 将来的には両市での一体的なバス路線体系の構築を目指す
- ・ 鉄道でつながっていない新里地区と伊勢崎市とのアクセス性を高める

令和6年度～	: 両市をつなぐ広域バス路線の検討 : 新里地区・伊勢崎市との広域バスの導入の検討
--------	--

交通機関	乗り入れポイント	
	名称	所在地
おりひめバス（桐生市）	東邦病院	みどり市
	さくらもーる	
新里町デマンドタクシー（桐生市）	恵愛堂病院	みどり市
	さくらもーる	
	赤城駅	
電話でバス（みどり市）	大間々駅	桐生市
	新桐生駅	
	桐生厚生総合病院	
	ヤオコー桐生相生店	
赤堀シャトルバス（伊勢崎市）	相生団地	桐生市
	カリビアンビーチ	

近隣都市の公共交通との相互乗り入れの状況（交通ビジョン）

③ 実施主体						
交通事業者、桐生市、みどり市、近隣自治体						
④ スケジュール						
年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029~ (R11~)
(1)	●検討					→
(2)	●検討					→
⑤ 関連する取組						
● —						

(参考) 関連施策の分類について

- ・ 関連する施策を重点施策に分類 ⇒ (2) 重要施策 > ⑤ 関連する取組

● 鉄道やバスを利用したくなる仕掛け		1-2-1～1-2-2
令和6年度～	：鉄道事業者が実施するイベント列車等への支援を実施	2D
	：バスやMAYUに乗ってみたくなる仕掛けの検討 ・ 企画イベントバス運行の検討 ・ MAYUなど次世代モビリティを身近に感じてもらう取り組みの検討 ・ 商店街や商業施設と連携した企画の検討 ・ おりひめバスフリーデーの実施検討	1A・3A・3B
● 子育て支援の一助となる交通施策の検討		1-3-1
令和6年度～	●●	1A
● 公共交通の通学利用増進		1-3-2
令和6年度～	：公共交通利用通学費補助金制度の実施【継続】	1A・2A・2D
● 交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）の推進		1-3-3
令和6年度～	：小学校夏休み図画コンクールの実施【継続】	1A・2D・3B
	：未来創生塾を通してMAYUを活用した学習（小学校）の実施【継続】	1A・3B
	：中高生についてのMAYUを活用した学習検討	1A・3B
● 公共交通を高校生に慣れ親しんでもらう取り組み		1-3-4
令和6年度～	●●	1A
● バス交通における運賃制度の検討と運賃以外の収入確保		2-1-6
令和6年度～	：バスの車体ラッピングを中心に広告収入の確保を推進	2A
令和8年度	：おりひめバス運行事業検討委員会を設置し、運賃見直しの検討を開始	2A
令和11年4月	：おりひめバス路線の全体改正に合わせ、運賃の見直しを実施	2A
● 鉄道の利用促進や沿線地域の活性化への取り組み		2-2-2～2-2-3
令和6年度～	：軌道間ネットワークの強化	2A・2D
	：4鉄道の各沿線協議会等の支援	2D

● 鉄道及びバス車両の計画的な車両更新		2-3-1
令和6年度～	: 鉄道 上毛線再生協議会及びわたらせ渓谷鐵道再生協議会で検討	2D
	: バス 群馬県の更新基準を超えた現車両を計画的に更新 社会情勢の変化などを踏まえ、EV 車両やワゴン車の導入検討	2A
● 車両や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進		2-3-2
令和6年度～	: ノンステップバス車両の導入推進	2A
	: ユニバーサルデザインタクシーの導入推進	2B・2C
● 小型モビリティ・歩行・自転車利用環境の改善		2-3-3
令和6年度～	: ●●	3C・3D
● 自動運転技術活用の検討		3-1-3
令和6年度～	: 群馬大学理工学部による自動運転技術の研究を支援	3B

資料3

アンケート集計結果

市民アンケート 単純集計結果

アンケート実施概要

実施期間：10月6日（金）～10月20日（金） ※2週間

配布枚数：3,000枚

回収枚数：1,209枚

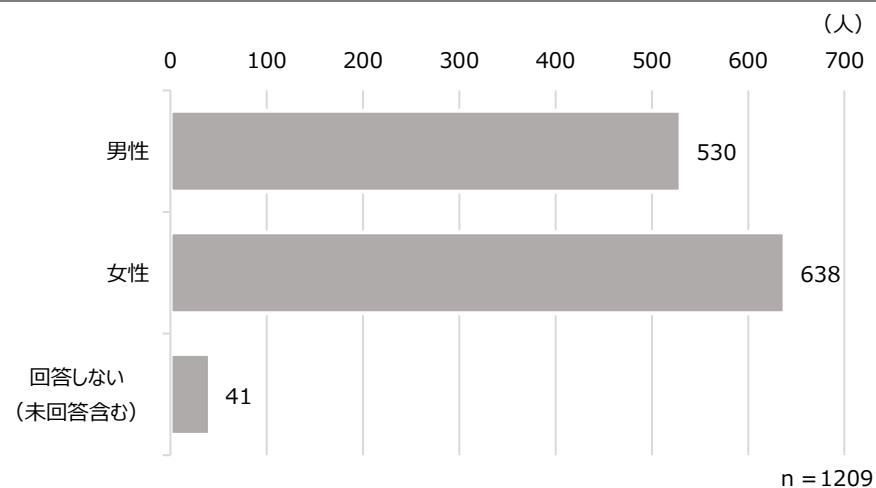
回収率：40.3%

■ あなた自身について、お聞かせください。

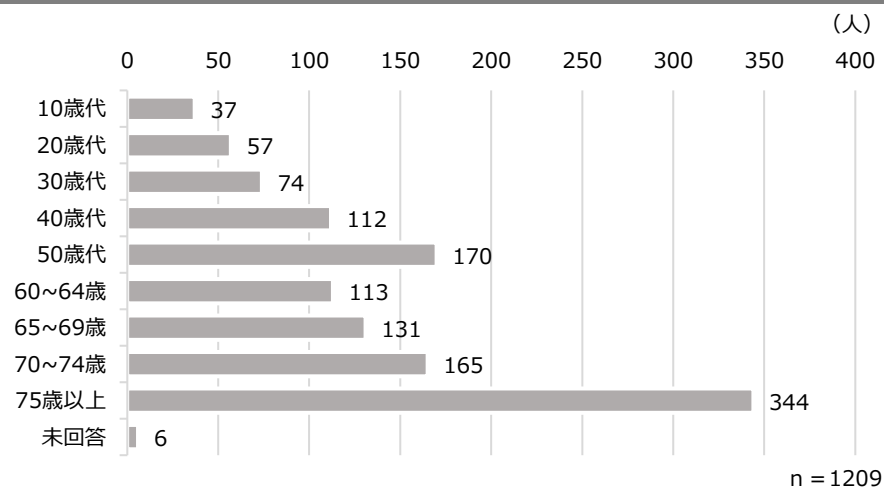
※構成比について、（ ）は母数から未回答等を除いた結果

それぞれの項目について、あてはまるものを教えてください。（それぞれ1つに○）

▶ 性別



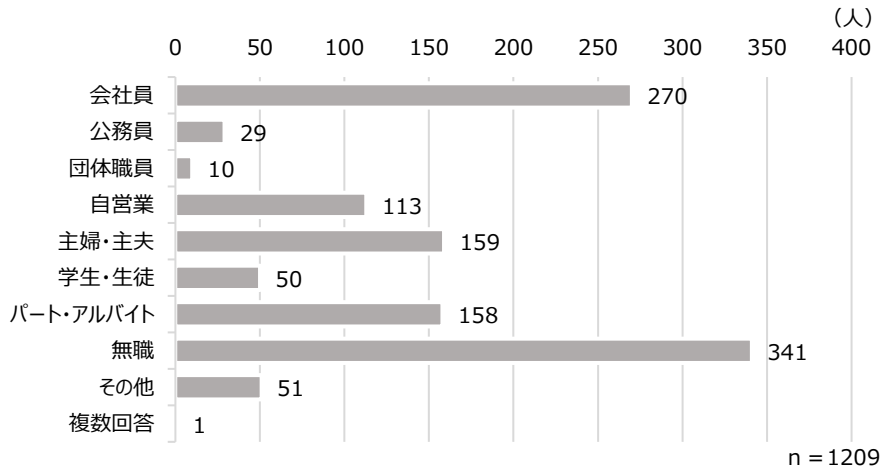
▶ 年齢



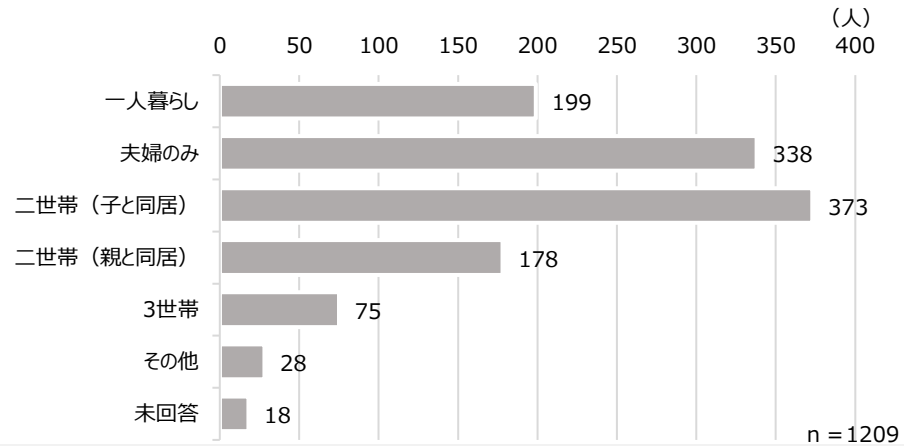
■ あなた自身について、お聞かせください。

それぞれの項目について、あてはまるものを教えてください。（それぞれ1つに○）

▶ 職業



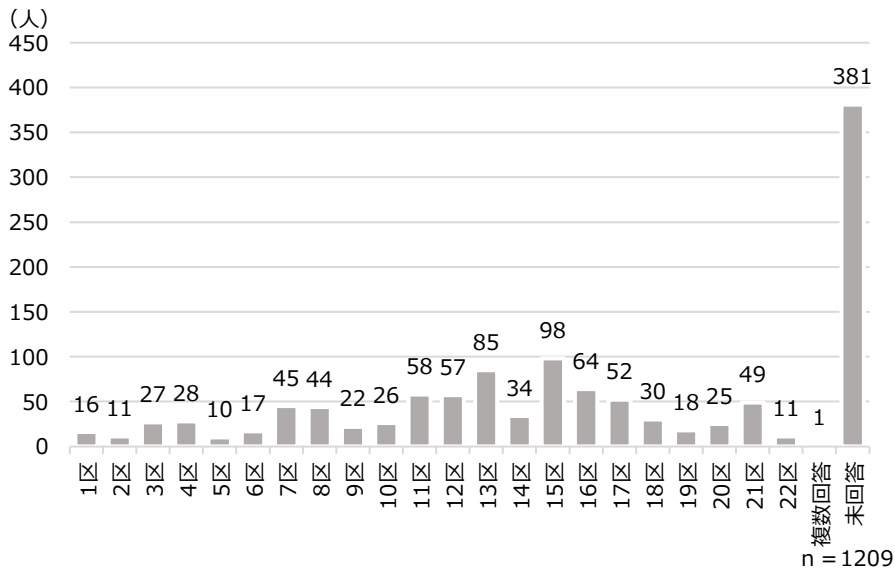
▶ 家族構成



【その他の内容】

・施設入所 ・孫と一緒に ・祖母と同居 ・兄弟 ・姉妹 ・夫婦、義妹

▶ 居住地区

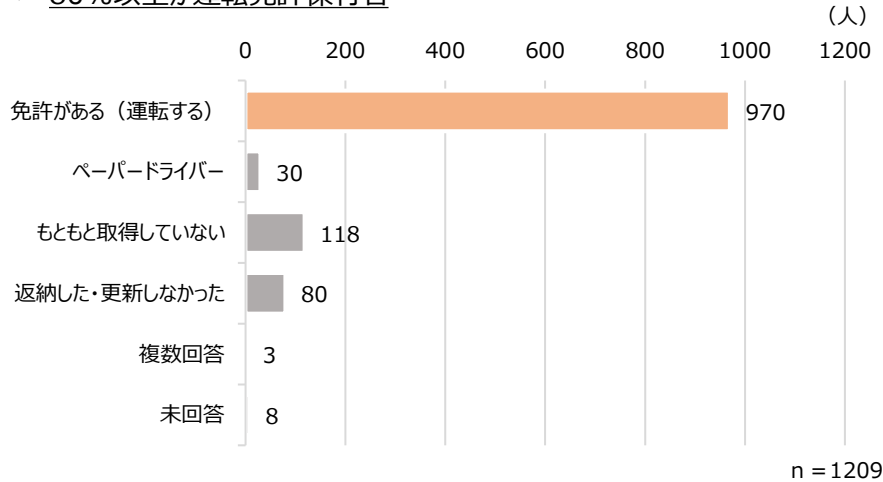


■ あなたの自動車の運転について、お聞かせください。

問1.それぞれの項目について、あてはまるものを教えてください。(それぞれ1つに○)

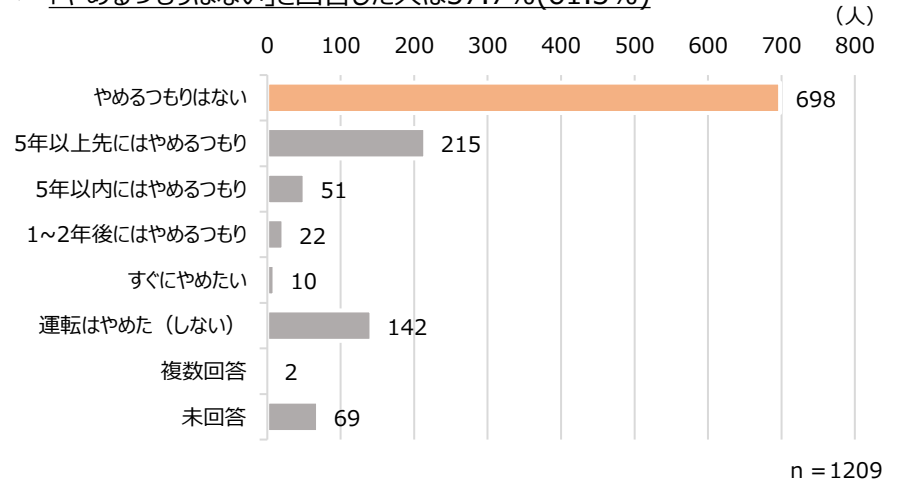
▶ あなたの運転免許の有無

✓ 80%以上が運転免許保有者



▶ ご自身の運転への考え方

✓ 「やめるつもりはない」と回答した人は57.7%(61.3%)



【欄外記載内容】

- ・バイク運転
- ・車がない

【欄外記載内容】

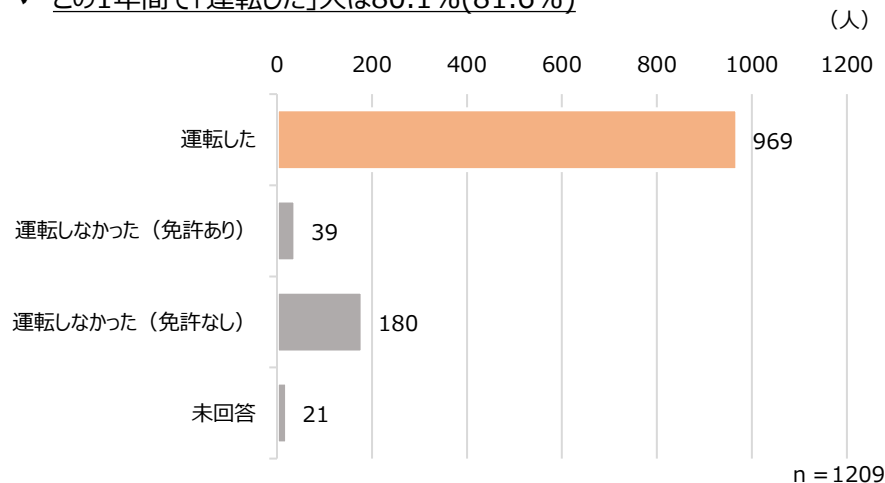
- ・若いころから必要なかったため免許を取らなかった
- ・健康年齢との関係で考える
- ・危ないと思った時点で返納、乗ればその先まで
- ・77才でやめた 現在84才
- ・5年以内か5男以上先かは、自分の健康状態により考える
- ・次の更新でやめると考えている

■ あなたの自動車の運転について、お聞かせください。

問1.それぞれの項目について、あてはまるものを教えてください。(それぞれ1つに○)

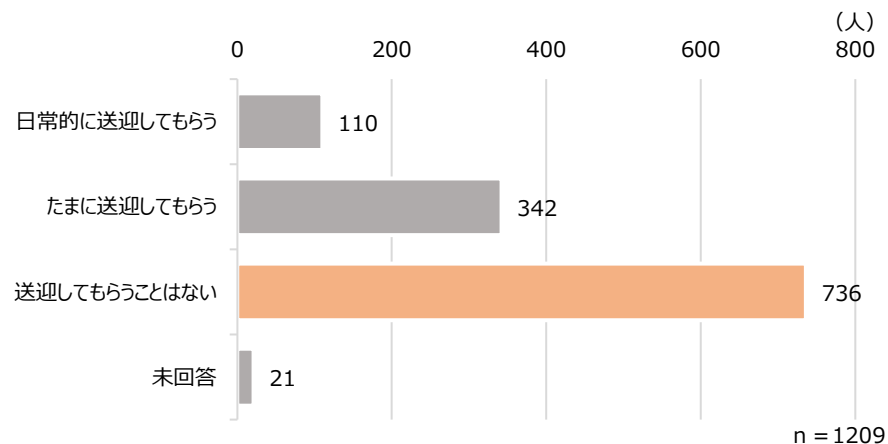
▶ 自転車の運転状況

✓ この1年間で「運転した」人は80.1%(81.6%)



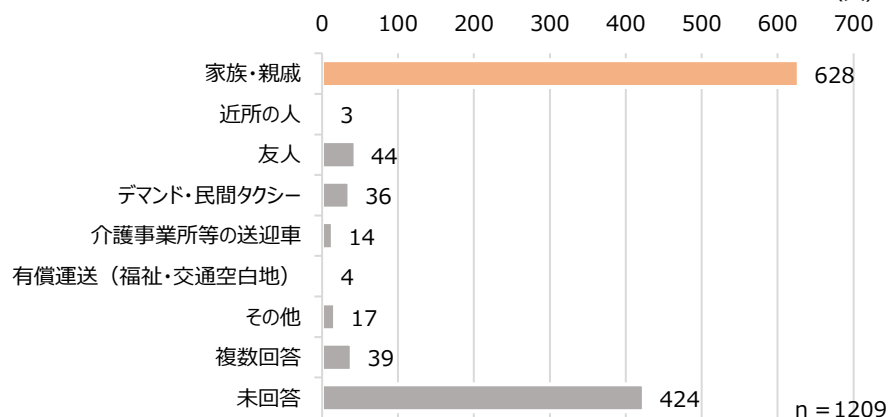
▶ 送迎について

✓ 「送迎してもらったことはない」と回答した人は60.9%(62.0%)



▶ 送迎の相手

✓ 送迎をしてもらう場合、「家族・親戚」にってもらった人が51.9%(84.2%)(人)



【その他内容】

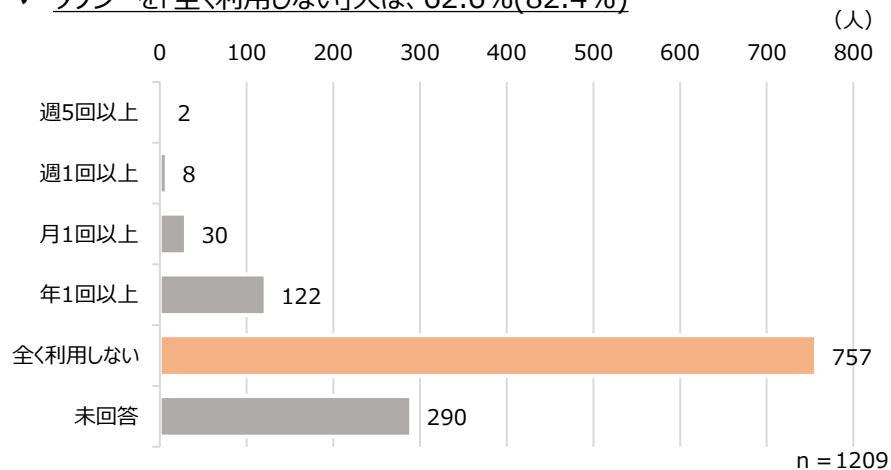
・会社 ・公共交通機関バス等

■ 公共交通の利用について、お聞かせください。

問2.それぞれの公共交通（タクシー、鉄道、バス等）について、あてはまるものを教えてください。（タクシー、鉄道、バス等それぞれ1つに○）

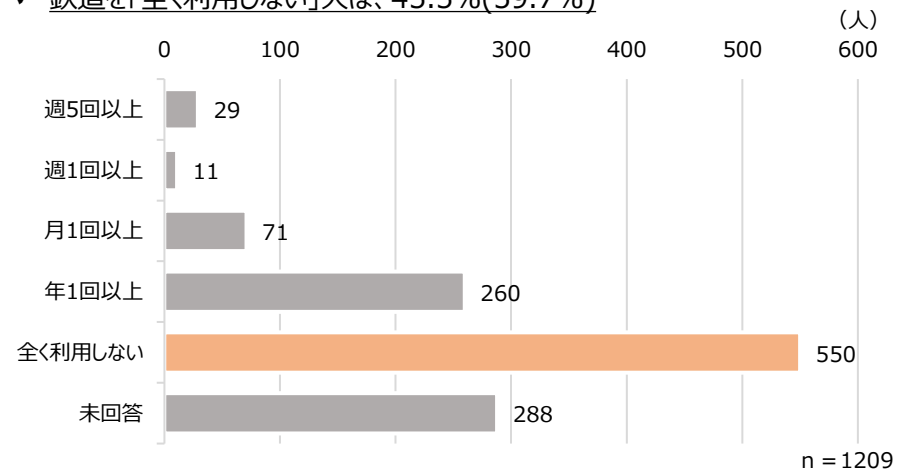
▶ タクシー

✓ タクシーを「全く利用しない」人は、62.6%(82.4%)



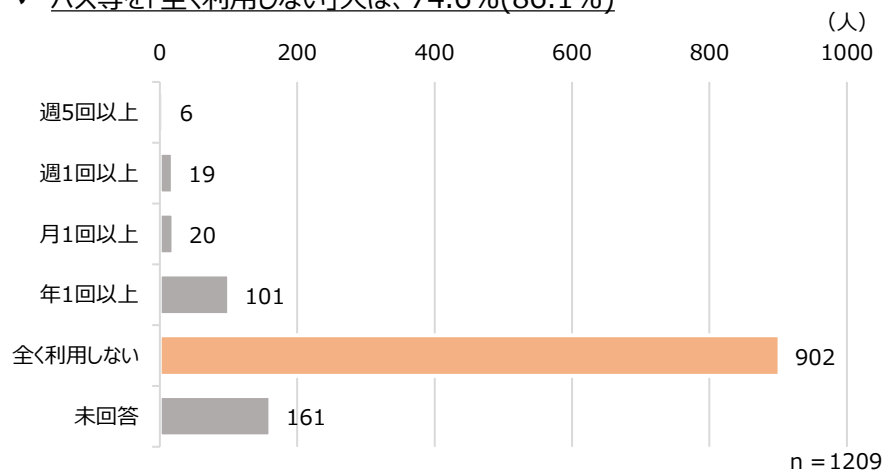
▶ 鉄道

✓ 鉄道を「全く利用しない」人は、45.5%(59.7%)



▶ バス等

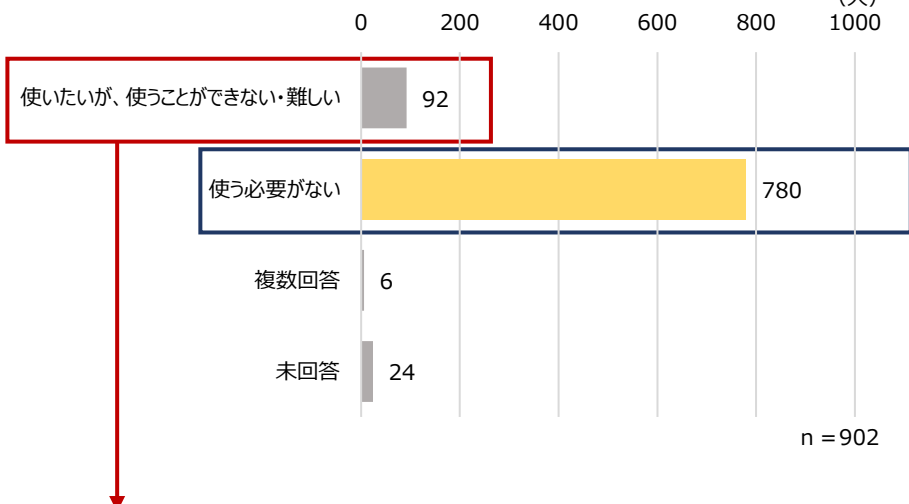
✓ バス等を「全く利用しない」人は、74.6%(86.1%)



■ 公共交通の利用について、お聞かせください。

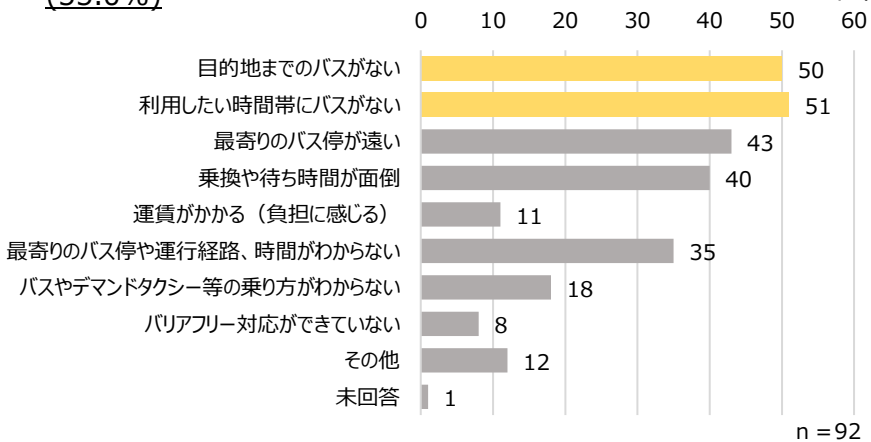
問3. バス等を利用しない理由を教えてください。(どちらかに○) ※ バス等について「5. 全く利用しない」を選択した人

✓ バス等について「使う必要がない」と回答した人は86.5%(89.4%)



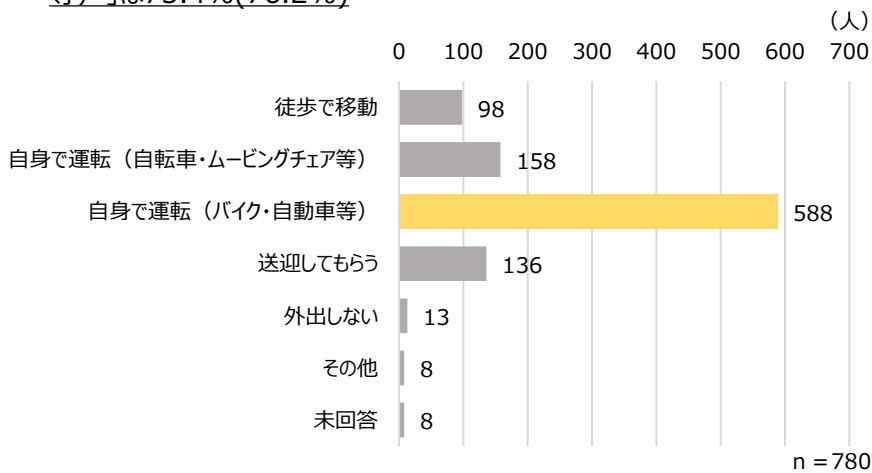
問4A. 理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

✓ 「使いたいが、使うことができない・難しい」と回答した人のうち、「利用したい時間帯にバスがない」55.4%(56.0%)、「目的地までバスがない」54.3%(55.0%)



問4B. 理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

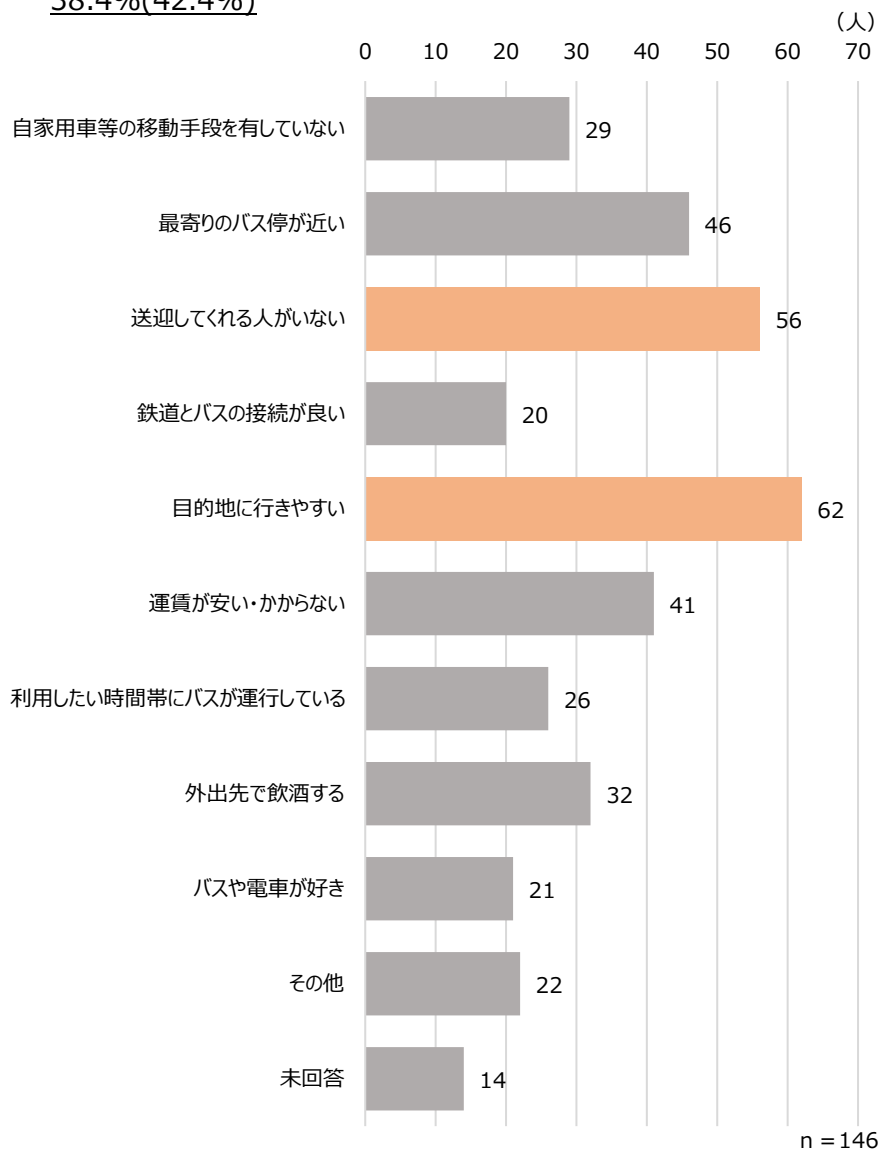
✓ 「使う必要がない」と回答した人のうち、「自身で運転(バイク・自動車等)」は75.4%(76.2%)



■ 公共交通の利用について、お聞かせください。

問5. バス等を利用する理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○) ※ バス等について「1.週5回以上」～「4.年1回以上」を選択した人

✓ 「目的地に行きやすい」 42.5%(47.0%)、「送迎してくれる人がいない」
38.4%(42.4%)



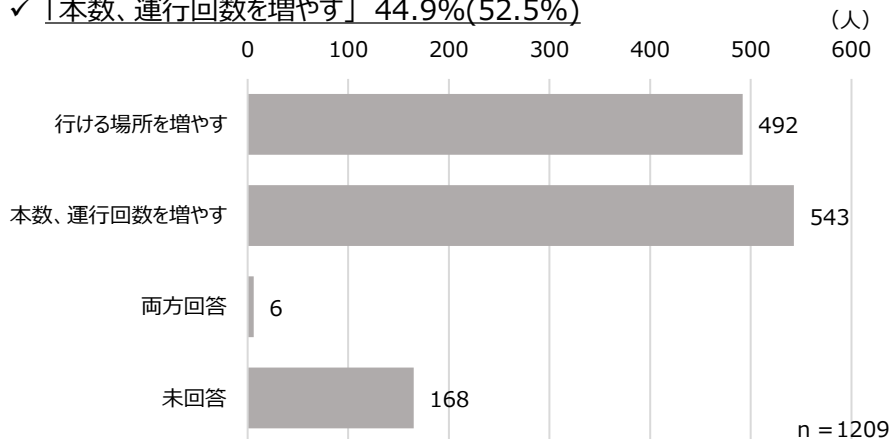
【その他内容】

- 駐車場がない場合に利用
- 観光地・旅行先等で利用する
- 出張、仕事で利用
- 運転するより楽だから
- 自転車パンクでやむを得ず
- 駐車場を探さなくてよい、のんびりできる、マイカーは渋滞してイライラする
- 天候による

■ 公共交通の利用について、お聞かせください。

問6.バス等について、見直すならどちらが良いか教えてください。(どちらかに○)

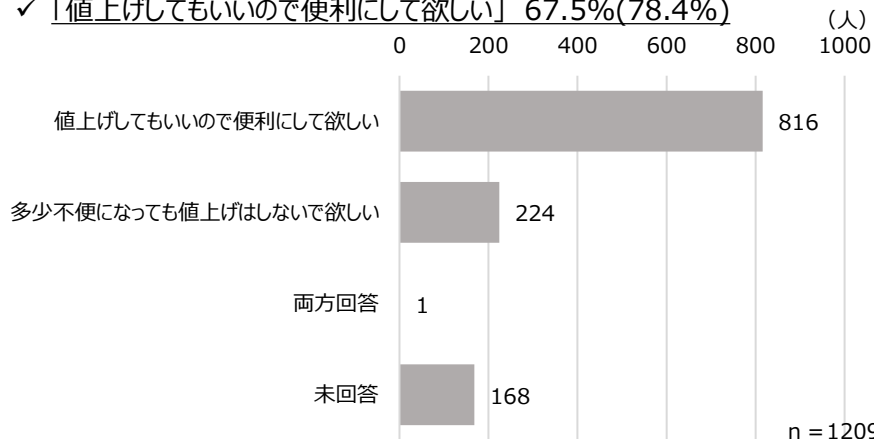
✓ 「本数、運行回数を増やす」 44.9%(52.5%)



【欄外記載内容】

- 決めるのが難しい、どちらも
- 今のままで
- 遠近別に運行、便数を考える

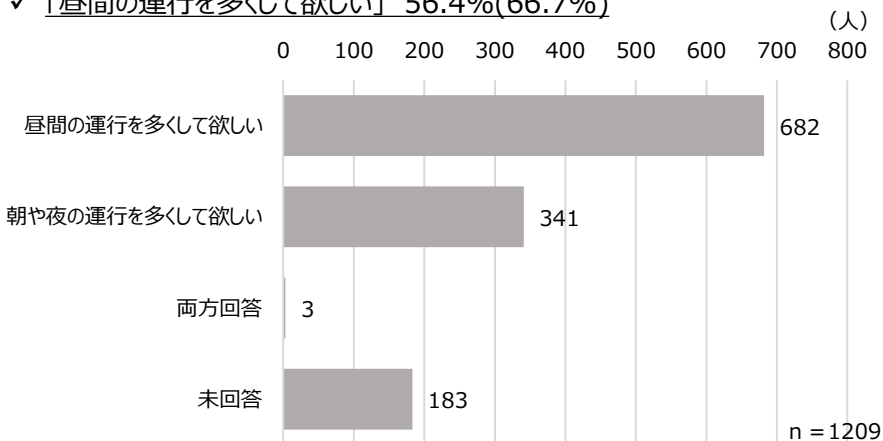
✓ 「値上げしてもいいので便利にして欲しい」 67.5%(78.4%)



【欄外記載内容】

- 値上げなしで便利が欲しい
- 今のままで
- 値上げか不便かの選択を迫っている

✓ 「昼間の運行を多くして欲しい」 56.4%(66.7%)



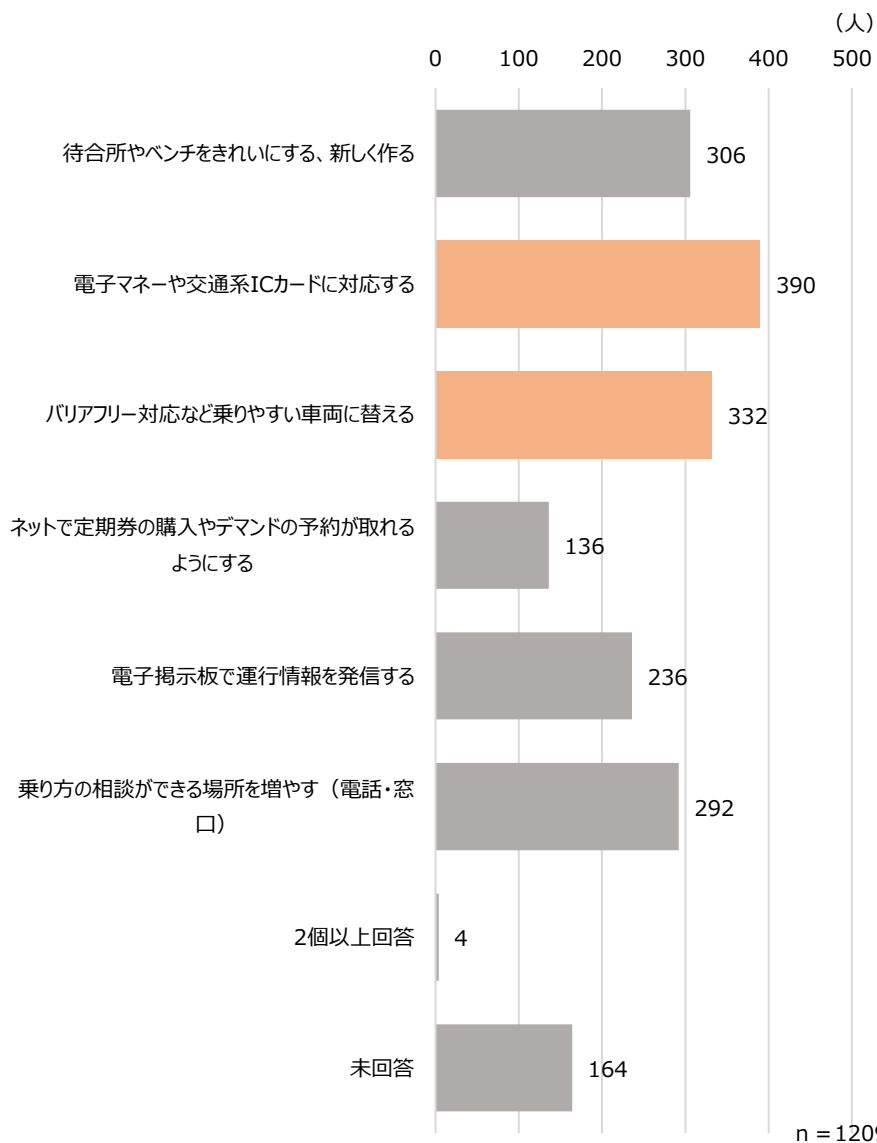
【欄外記載内容】

- バランスよく考える
- どちらかにない、両方。問6は「どちらか」の選択をせまるところが間違っている
- 通学時に増やして欲しい

■ 公共交通の利用について、お聞かせください。

問7.バス等について、整備するならどれを優先したいですか。(2つまで○)

✓ 「電子マネーや交通系ICカードに対応する」 32.3%(37.5%)、「バリアフリー対応など乗りやすい車両に替える」 27.5%(31.9%)

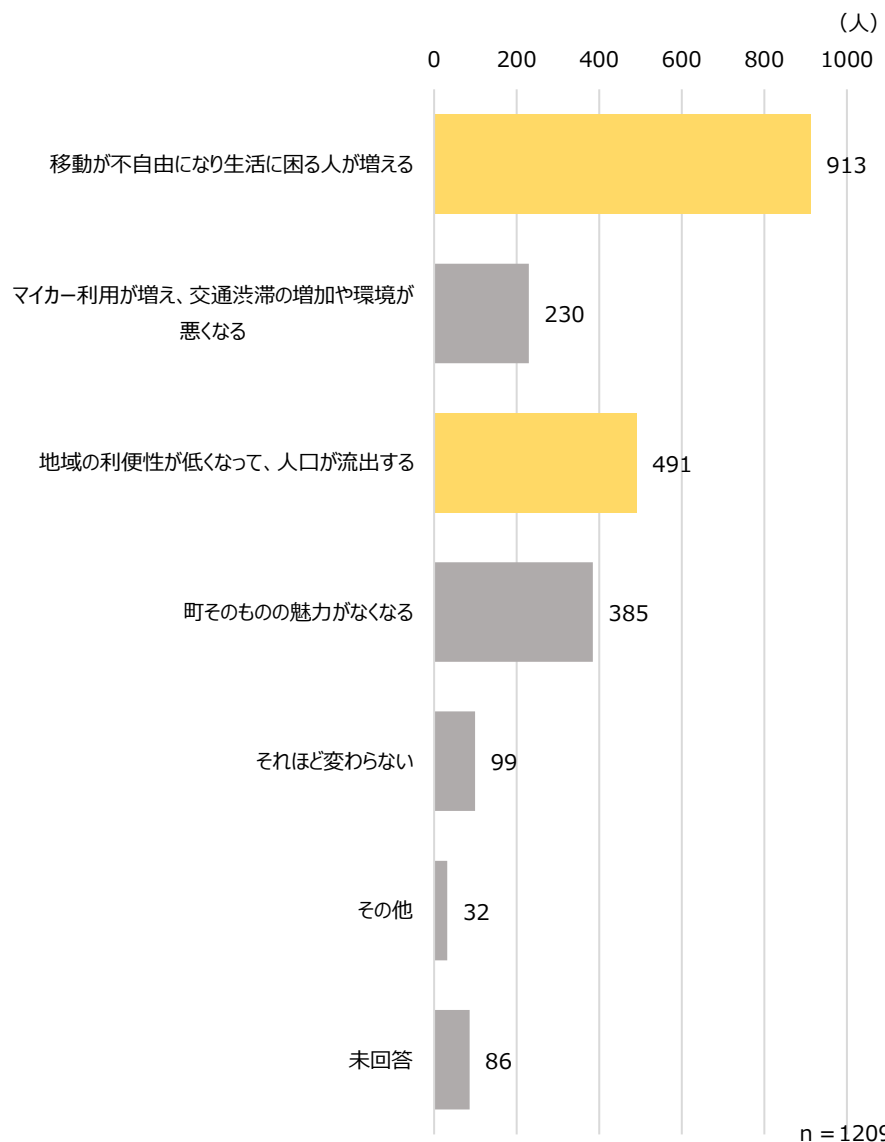


【欄外記載内容】

- バス停を増やす

問8.現状のまま、鉄道、バス等の利用が減り続け、廃止されたら、あなたはどうなるとお思いますか。(あてはまるもの全てに○)

✓ 「移動が不自由になり生活に困る人が増える」 75.5%(81.3%)、「地域の利便性が低くなって、人口が流出する」 40.6%(43.7%)

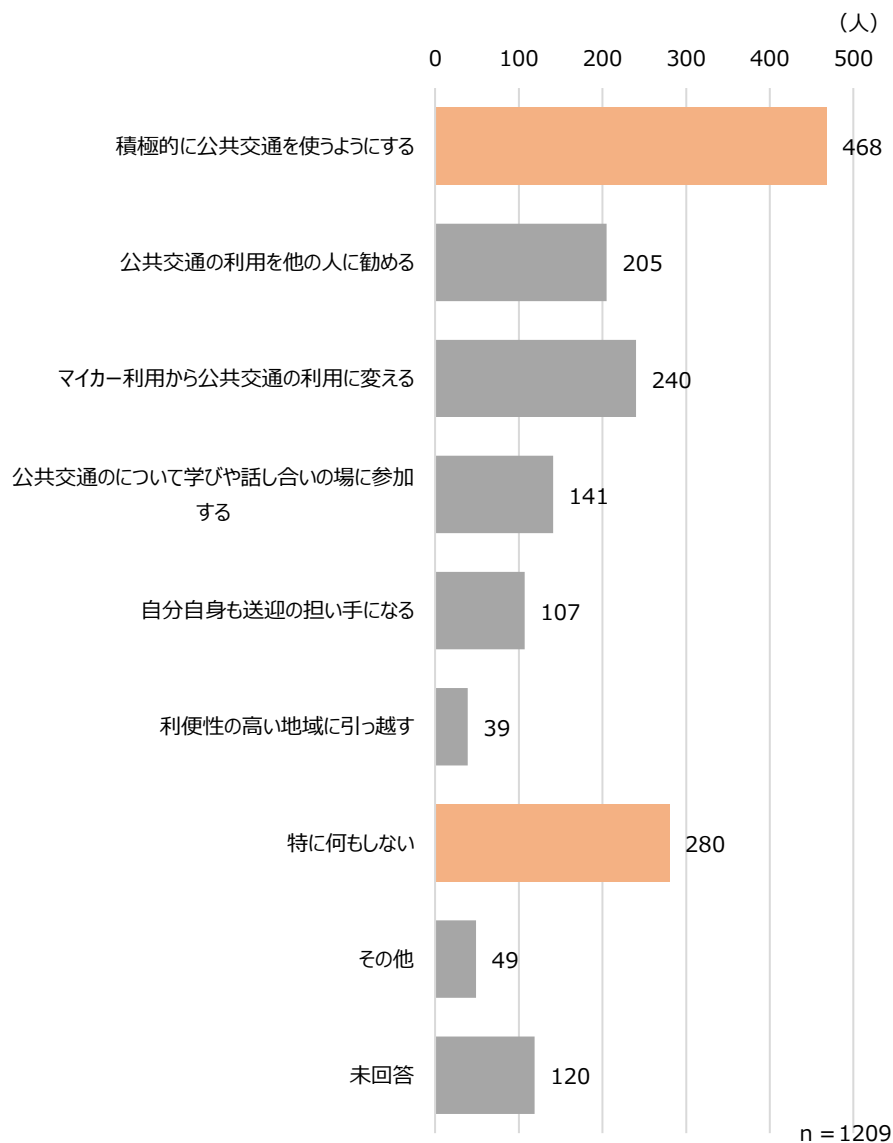


【その他内容】

- 観光客が減る
- 雇用がなくなる
- まだわかりません。いえません
- 人口が流出するのは、バス等がないからというわけではない
- 免許返納がしづらくなる
- お年寄りの移動手段がなくなる
- 高齢者が免許返納しなくなる
- 高齢ドライバーが増、事故が増加する
- 返納者には死活問題
- 通院の手段がへってしまう
- 影響を受ける人は今後減少する
- 住みにくい、永住できないと考え引っ越す
- 交通弱者(高齢者、障がい者など)が安心して暮らせる街とは、一般の人にとっても安心して暮らせる町です
- 観光誘客ができない
- 高齢のためマイカー利用ができない。バス等の廃止は困る
- これからはもっと重要性が増す
- 10年後バスを利用するので困る
- 桐生は陸の孤島です！

問9.公共交通の維持・発展のため、あなたはどんなことができますか。(あてはまるもの全てに○)

✓ 「積極的に公共交通を使うようにする」 38.7%(43.0%)、「特に何もしない」23.2%(25.7%)

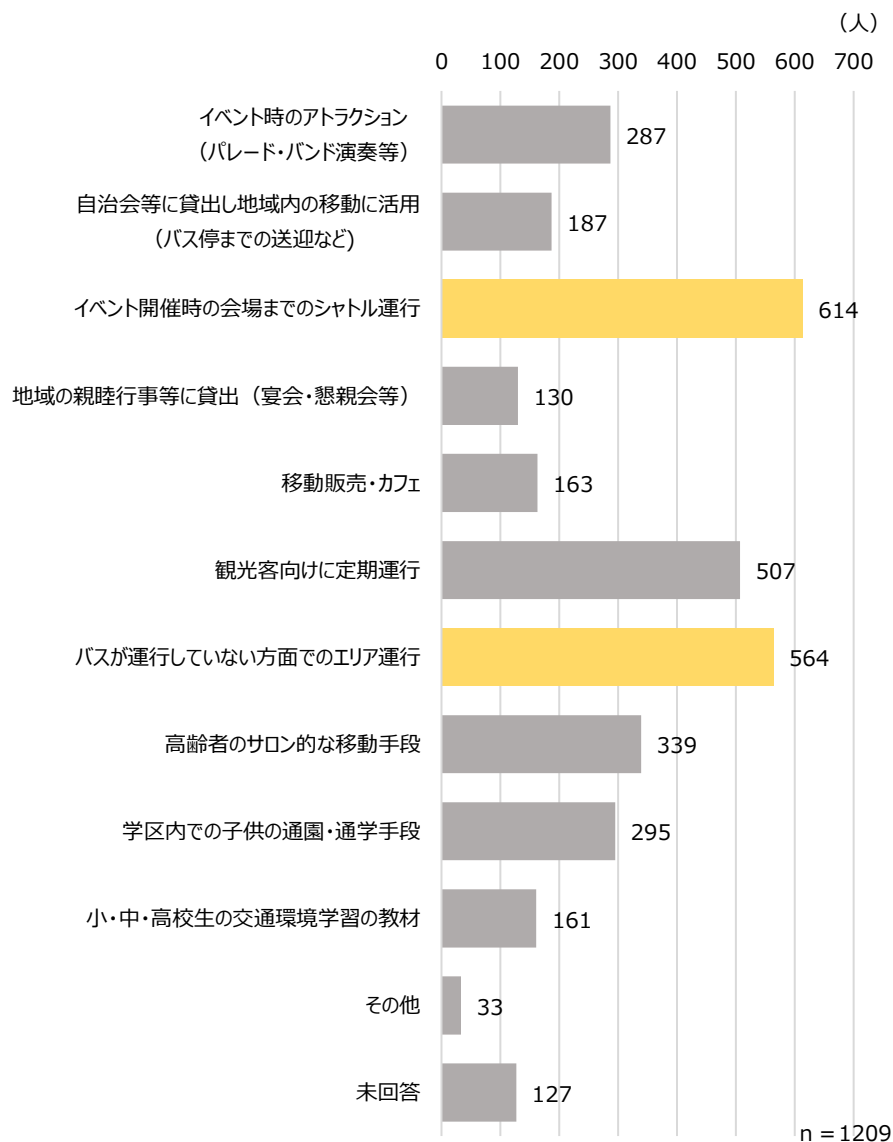


【その他内容】

- 公共交通の使い勝手が良くなるならそれ専用の税等で支払う
- 観光地や店を増やす
- 子供のころから積極的にバスの乗り方を教える
- 公共交通利用者にポイントマネー等でお得にする
- ピンポイントで呼んで来てもらえ、タクシー的に安く使えるようにする
- 高齢そして体が不自由なので何かしたくても出来ません
- 情報を必要としている人に伝える
- 時間のある時はバスを使う
- 行政が考えるべき
- 免許返納したら積極的に活用したい
- 何もしないのではなく、できることがわからない
- 宝くじでも当たれば利便性の高いところに引っ越したい！
- 免許を返納したら移動に困る
- 相生・広沢1, 2, 3丁目に引っ越す
- 今のところは出来る事はないと思います
- 免許が在るうちは車で
- Uberみたいなものの実施
- 人口が増えないと難しい
- 駅とバス停が遠いのでレジャーの時は使うようにする
- イベントがあるといい
- 広告の強化
- 市民に使ってもらえるようにアイデアを考える
- 体調不良のため公共交通利用はむずかしい
- 何とも言えません
- おすすめことがある
- 税金を納めています。イベント等があれば子供と一緒に参加したいです
- 夜もあれば利用して外食で飲酒、タクシーがないから
- まだ現状のマイカー利用。将来は検討する
- 市役所関係の務めの方から率先して公共交通を利用すべき
- マイカーがあるのにバスなどを使うのはぜいたくに思う
- マイカーから公共交通に変えるについて、今すぐではないが、だんだんに
- 高齢者対象とした交通安全教室の開催
- 家族が無免許のため送迎している
- 見守る

問10. MAYUの活用目的について、考えられるものを教えてください。（あてはまるもの全てに○）

✓ 「イベント開催時の会場までのシャトル運行」 50.8%(56.7%)、「バスが運行していない方面でのエリア運行」46.7%(52.1%)

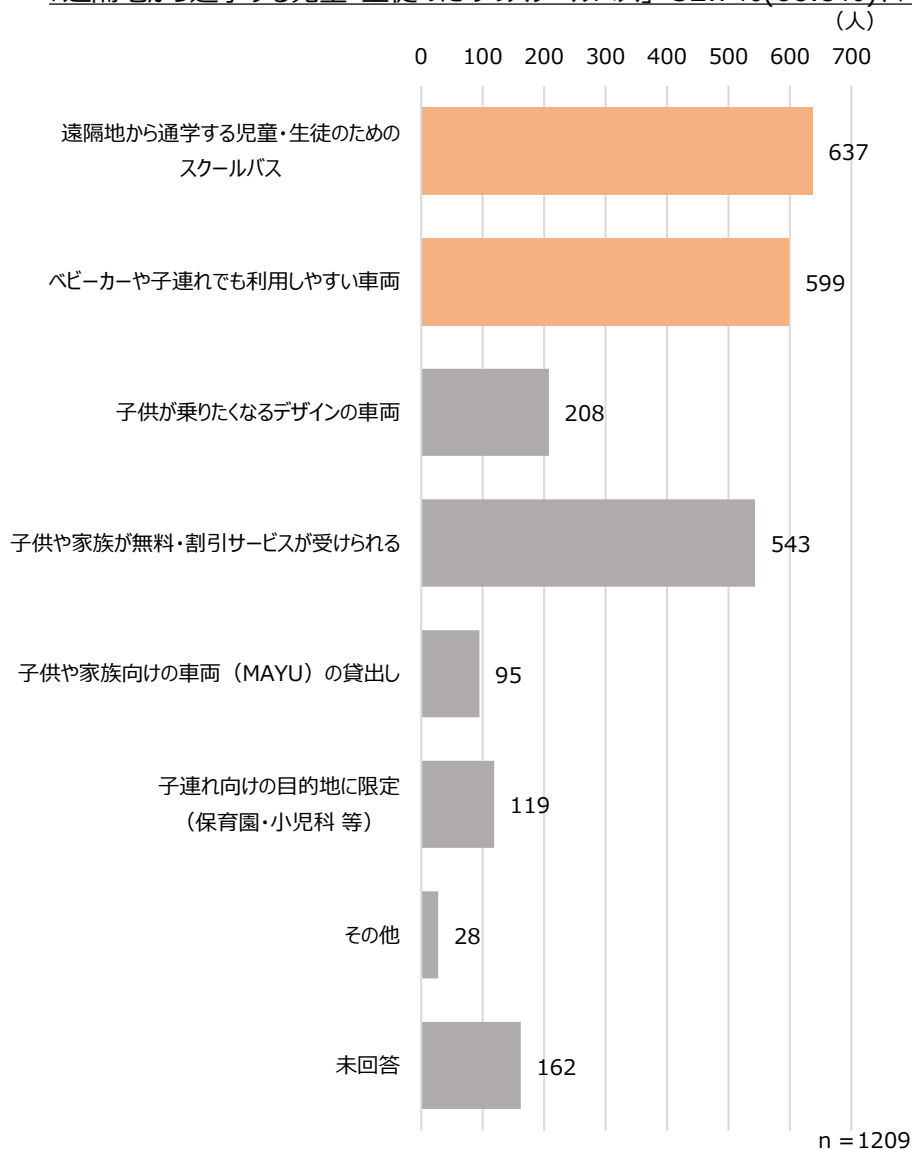


【その他内容】

- 考えつかない、よくわからない
- 必要ない
- 利用したい人が近くにバス停がなく困っているのに、無人で回っているのはもったいないので呼んで、来てもらえるようにしてほしい
- 一度も乗ったことはありませんが、足の悪い、バス停までが遠い人もいますので(自治会等に貸出し地域内の移動に活用について)
- 本町通りの巡回運行
- MAYUは費用対効果・目的合理性を欠いている
- 新里地域の運行
- 電車との接続が悪い
- 運行エリア外
- 公園の駐車場が遠いので、駐車場→公園のシャトル運行、休みの時などの駐車場から観光地への移動
- 各駅、各公民館、大規模店間の移動手段、観光用
- すぐに廃止すべき、税金のムダ使いである
- 高齢者の通院手段 (介護員付きで運行)
- ツアー
- 桐生⇄新桐生駅の定期便
- 予算見直ししてインフラ整備に使うべき
- 東武線・JRとの接続、重伝建へのアクセス
- 新里エリアの走行検討
- 認知度が低い、広報に力を入れるべき
- まだ利用なし
- 現市長が球都を謳っているのに野球クラブや少年野球の移動手段など、野球少年・野球の支援に
- おりひめばす全部を切り替えればいい
- 乗り物としてのメリットが少なすぎるので、活用は難しいと思う
- MAYUには窓があるのですか？寒いときはどうするのでしょうか？
- MAYUを実際見たことがないので、わからない
- 利用できない地域なのでわからない
- 若い人は大いに利用してほしい
- 市内の買い物できる地点をルートに組み込む
- 平日も運行すべき！

問11.子どもと子育て世代に寄り添う交通施策として、バス、タクシー、MAYUなど各種移動サービスは、どのような場面や状況にあると利用されると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

✓ 「遠隔地から通学する児童・生徒のためのスクールバス」 52.7%(60.8%)、「ベビーカーや子連れでも利用しやすい車両」 49.5%(57.2%)



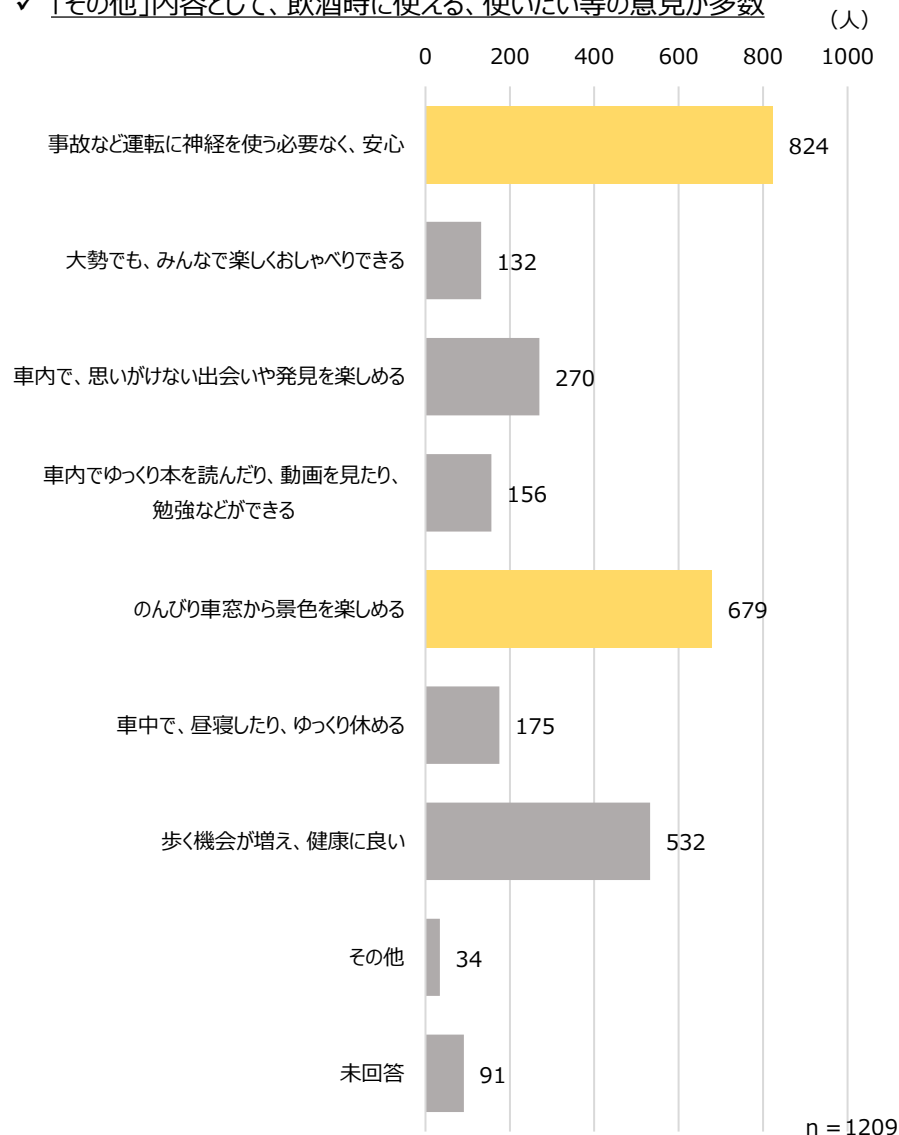
【その他内容】

- 考えつかない、わからない
- 習い事へ乗り換えなしで行けるようになると嬉しいです (桐生→みどり)
- 年寄りの通院、役所や公民館の移動など、チケット制で使えるようにする
- 駅など利用者の多いところにも停まる
- 通勤・通学時間の便数拡大
- どうでもいい
- 駅で利用者を待つ
- MAYUが必要ない
- バスと地域の魅力をアピールするミニガイドさんの同乗
- 全て無料とし税の投入！
- イベントで使用するくらいで日常はマイカーで大丈夫でしょう
- 別の問題ですが子供と公共交通を利用していきたいと思える商業施設が市内に無いんです
- 利便性が良ければ乗る
- MAYUってなに
- 公共交通とシャトルバス (MAYU) は用途が違うと思う
- 学校合併が増えるので送迎として
- 環状運航など、分かり易い使い易いこと
- 子供、様々な世代の意見を聞き、要望を市政に反映する
- 運行間隔の頻度を上げる。待合所、駐輪場の環境整備
- 高齢者の通院にいくとき
- イベント会場や観光場所があると乗りたいと子供に言われて乗るパターン
- 桐生の歴史や文化をバスに描く

問12. 「ゆっくりズムのまち桐生」にふさわしい暮らし方として、マイカーから公共交通に切り替える、ときには使ってみる、ことを考えたときに、公共交通にはマイカーを運転するのに比べて、どんな良い点があると思いますか。

✓ 「事故など運転に神経を使う必要なく、安心」 68.2%(73.7%)、「のんびり車窓から景色を楽しめる」 56.1%(60.7%)

✓ 「その他」内容として、飲酒時に使える、使いたい等の意見が多数



【その他内容】

- ゆっくりズムのまちづくりで考えてみます
- 飲酒可能
- 車の維持費が減る、家庭の支出が減る
- 定刻通りの運行
- マイカーではなくなった時の事なので、自分の生活リズムが合うまでわかりません
- 交通事故の減少
- バス停を増やす
- 行く目的がない
- 時は金なり
- 駐車場の心配がない
- 利用したことがないので
- ガソリン節約
- 子どもにとっても社会勉強につながると思う
- 利便性をもって目的地に到着が大切
- 車外の変化を気にして周りを見ることが出来る
- 環境負荷が少ない、貧富の差がなく暮らしに役立つ、社会的弱者にとって不可欠、将来的に市の発展につながる
- 駐車場を探したり、駐車料金を気にしない
- 利用できない地域をなくすことが前提です
- たまに利用することによる非日常的な感じ
- 地酒の試飲ができる気になるところはすぐに下りられる
- 社会に貢献している

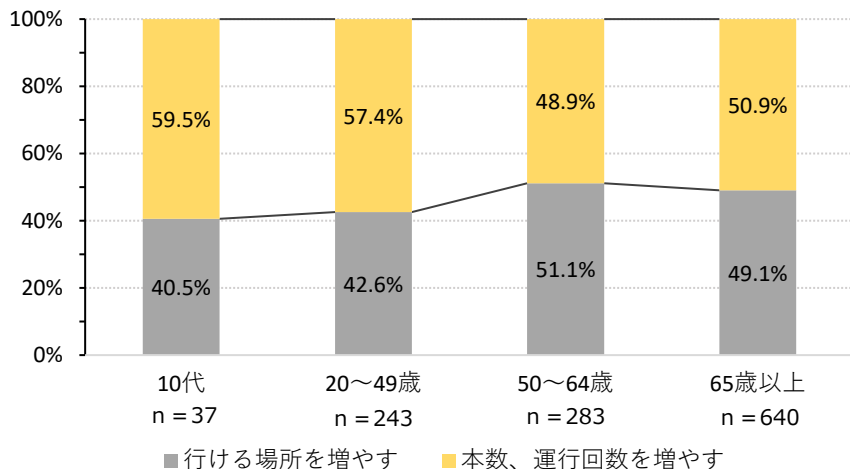
市民アンケート クロス集計結果

■ 年代×問6

年代ごとの、路線見直し要望

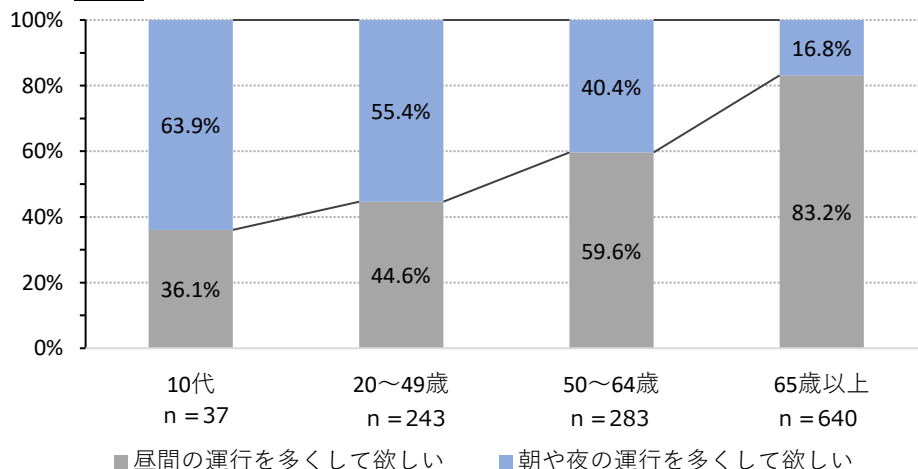
▶ 「行ける場所」 or 「本数、運行回数」

✓ 若い年代は「本数、運行回数を増やす」が若干多い傾向



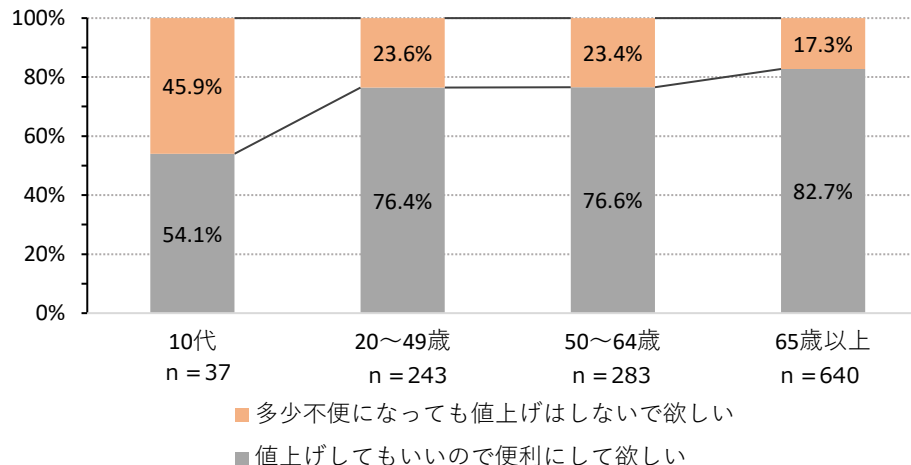
▶ 「昼間の運行」 or 「朝や夜の運行」

✓ 若い年代は「朝や夜の運行」が多く、年代が上がるにつれ「昼間の運行」が多い。



▶ 「運賃」 or 「サービスレベル」

✓ 全ての年代で、「値上げしても便利にして欲しい」が多い

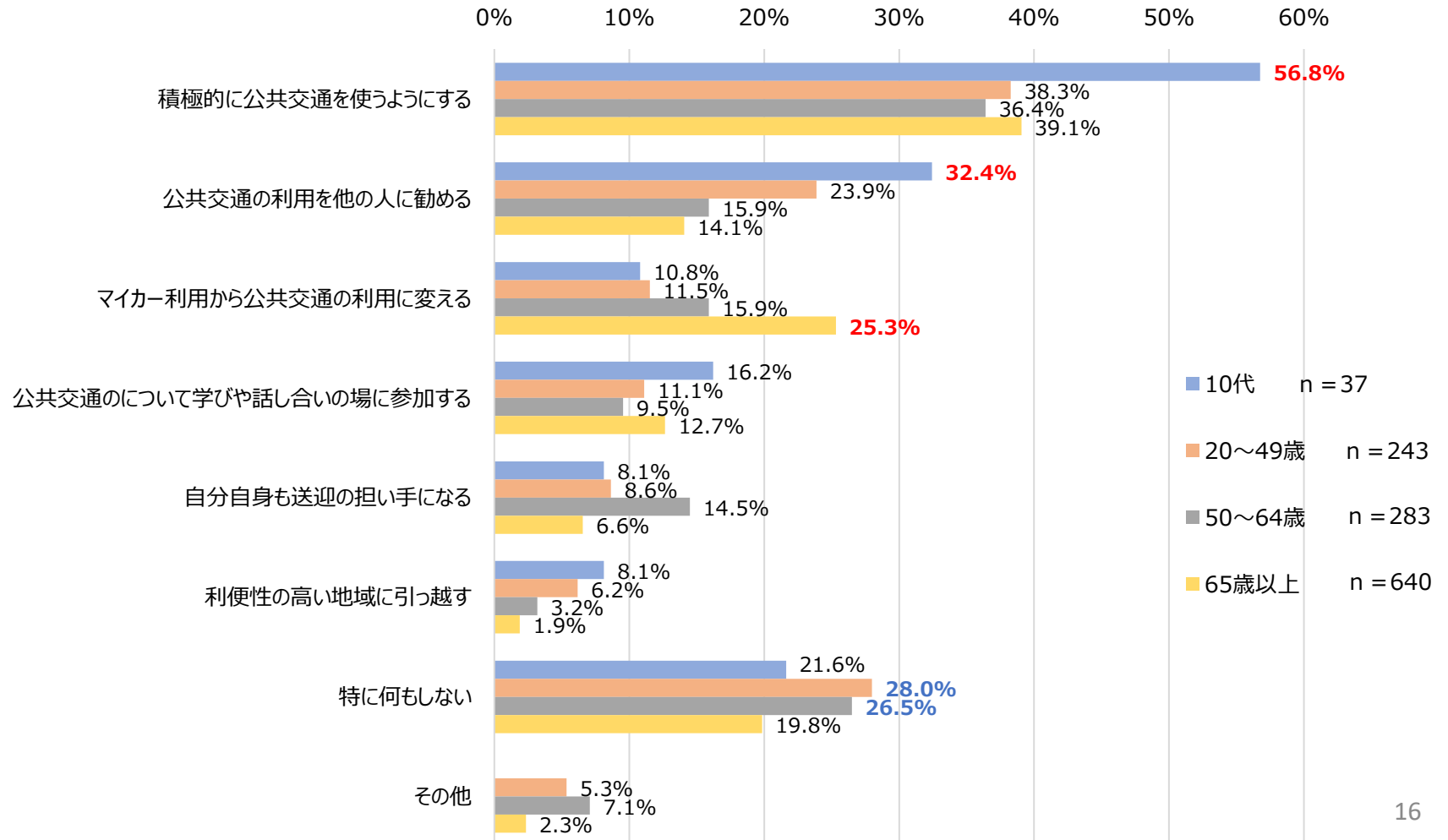


■ 年代×問9

年代ごとの、公共交通に対する意識の差

- ✓ 車を持たない人が多い10代では、公共交通の利用に対し積極性が見られる
- ✓ 65歳以上の高齢者では、マイカー利用から公共交通の利用へ変える意識が見られる
- ✓ マイカー利用が主な20～64歳は、「特に何もしない」が若い世代や高齢者に比べ、多い

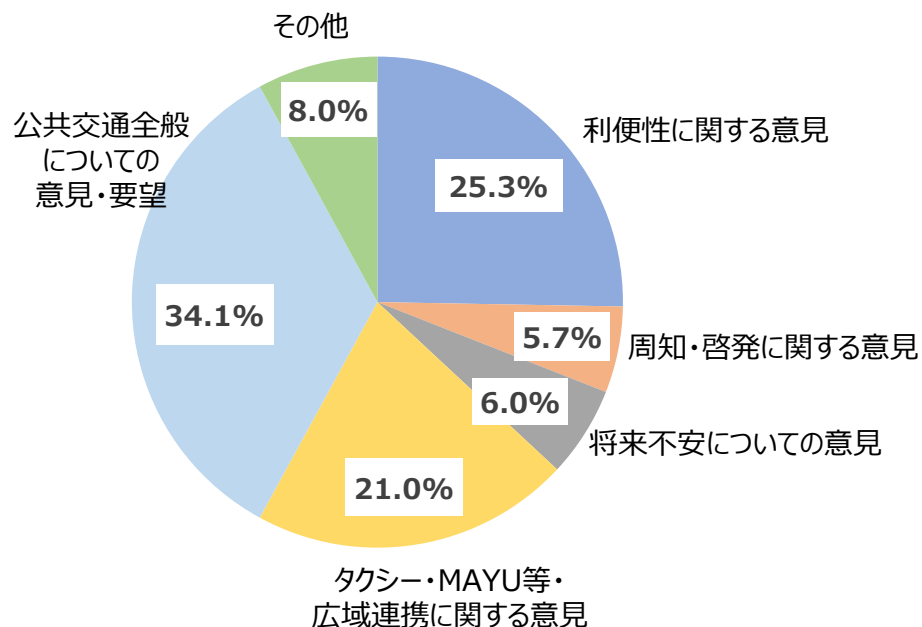
➡マイカーを持たない若い世代や、免許返納を考え始める高齢者は、公共交通への積極性が見られ、マイカーを利用する世代との意識の差がある。



■ その他の自由意見について、お聞かせください。

公共交通に関するご意見・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

記入者数：325人
 (内容件数：353件)
 ※同一内容を含む



分類別の意見	
利便性に関する意見 (89件)	<ul style="list-style-type: none"> 運行本数や停留所が少ない 通勤や通学に使える時間帯の運行 等
周知・啓発に関する意見 (20件)	<ul style="list-style-type: none"> 路線や時刻表がわからないため、周知して欲しい 各家庭に時刻表を配布するなどして欲しい 等
将来不安についての意見 (21件)	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納後のサポートをもっと充実させて欲しい 免許返納後の生活や、公共交通が使えるのか心配 等
タクシー・MAYU等・広域連携に関する意見 (74件)	<ul style="list-style-type: none"> タクシーの利用補助、タクシー券を見直すべき デマンドタクシーをもっと便利に みどり市と桐生市を繋ぐ交通が欲しい 等
公共交通全般についての意見・要望 (120件)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や交通弱者が使いやすい公共交通を整備して欲しい 等
その他 (28件)	<ul style="list-style-type: none"> ※ 公共交通以外の意見

